京城日報　十七日夕刊

定價 本紙 一部金三錢五厘 一ヶ月金八十五錢
發行兼編輯人 與田直猷　印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社

○米の對支警告經過

本野外相の言明

別館俄算內示會席上憲政會代議士望月小太郎氏の質問に對し本野外相は言明して曰く

本月六日米國政府は日、英、佛、露の四國に對し支那政局の紛擾を統一する爲め何等かの形式を採らんと欲し自國と同樣の態度を以て支那政府に勸告されたき旨提議し來れり、然るに米國政府は其の後如何なる底意にや單獨にて右の提案を爲すに至れり之れ畢竟米國が獨逸に對し國交斷絶を遂行したる態度と意嚮とを以て四國に對し支那に勸告せん事を希望したるなるべし其後支那は段氏免職され督軍は國會の解散を要求するに至れり帝國政府は全然支那の政爭に對し關係せざる事を以て現內閣の方針とし居るが故に其の旨米國に復牒し同時に英佛二國に通牒したるに英國政府は帝國と同意の旨回答し來りたり佛國よりは未だ何等の回答なきも多分英國と同樣の態度に出づるなるべしと(東京電報)

○驅逐艦六隻建造案

臨時議會に提出す

海軍は艦艇勢力の減耗を補充する爲め排級(六六五噸)の二等驅逐艦六隻の急造計畫を爲し其の經費總額百二十萬圓を臨時議會に要求する事となせり(東京特電)

○米政府說明書送達

米國の對支警告に對する誤解一掃の爲め米國政府は說明書を東京駐箚米國大使館に送附せり(桑港電報)

○質問續出

豫算內示會にて

十六日午後五時首相官邸にて衆議院各派代表者五十三名に對し豫算內示會を開き晩餐を共にして散會せるが席上左の如き質問應答ありたり

▲加藤政之助 帝國海軍の驅逐艦を地中海に派遣したる理由如何

▲加藤海相 本邦商船にして目下歐洲方面に航行し居るもの約六十隻ある故之が保護を爲ささる可からず又聯合國にても驅逐艦の不足を訴ふると英國政府の交涉ありたる爲めなり

▲高木益太郎氏 政府は戰爭税を附加する事通行税、營業税を廢止輕減する事に就て企畫ありや

▲勝田藏相 廢減税は永久的にして戰時利得税は一時的なり政府は此の點を考へ此の問題を調査研究中なり

▲望月小太郎氏 米國が協同宣言書を支那に交附せん事を提案せりと傳ふ眞疑如何

▲本野外相 何等かの誤報にて全然無根なり

▲鈴木梅四郎氏 露國に對し出兵說あるが如何

▲本野外相 全然無根にして未だ與國より何等の交涉を受けたる事なし

○憲政會不信任案提出

國民黨に交涉

憲政會にては特別議會に對し現內閣不信任決議案を提出すべく十四日午後加藤總裁の邸にて幹部會にて決定した後前回提携の約を重じ一應國民黨に交涉するに決し十六日午後二時富田幹事長小泉幹事は國民黨を訪問し來る特別議會に於て第三十八議會に於けると同樣の主旨にて現閣不信任案を提出せんとす憲政會は飽迄國民黨と同一行動を採られし關係あるに就き今期も步調を一にせられん事を望む御同意ならば案文の作成及び提出時期に就て協議せん事を望む旨の覺書を交付したり國民黨は議會召集後に之に回答すべしと(東京特電)

○共同作戰範圍

加藤海相の答辯

加藤海相は十六日夜首相官邸に於ける豫算內示會にて聯合國共同作戰の範圍如何の質問に對し東洋に於ける帝國々防上差支無き範圍內にて共同作戰に從事する旨答辯せり(東京電報)

○釜山部隊經理檢查

會計檢査院檢査官平塚定二郎氏一行及び廣瀨駐箚軍經理部長は十六日午後七時著列車にて釜直ちに東萊溫泉に赴きたるが十七日午前歸釜守備隊憲兵分隊其他陸軍官衙の經理檢查を行ふ(釜山特電)

○川上滿鐵理事

滿鐵理事川上俊彥氏は十七日朝入港の櫻丸にて釜山著同十時三十分發列車にて北行せり(釜山特電)

○兵器廠急設計畫

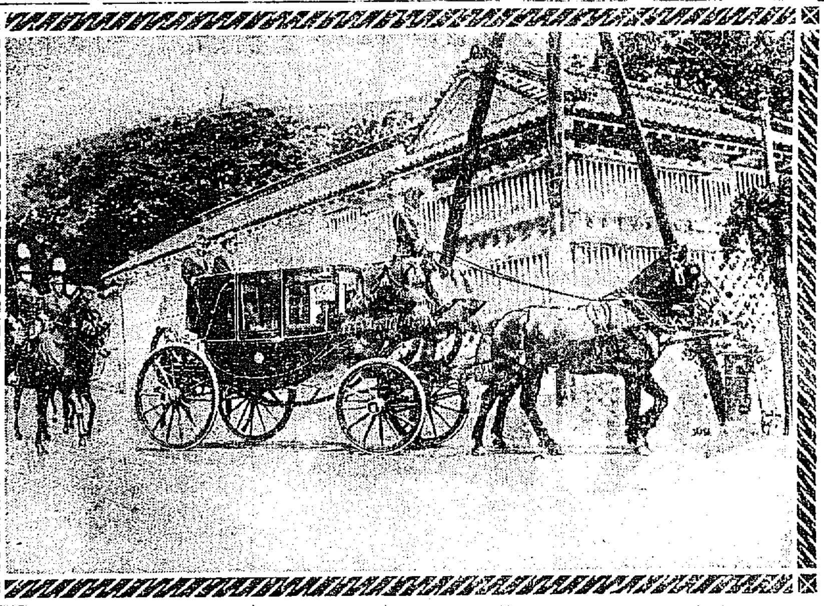
滿洲に兵器廠を創設すべしとは久しき以前より提唱され居たるが今回中央との脫離により特に痛切に其必要を感ずるに至りたれば張督軍は至急同工廠の設立を計畫し目下吉黑兩省と商議中なれば或は近く實現するに至るやも知れず之に要する經費は百萬元中吉黑兩省より各三十萬元宛を負擔し殘餘四十萬元は奉省の負擔とする筈(奉天)

○吉林最近商況

目下吉林に於て最も需要せらるゝ石油は英の亞細亞、及び米の美孚にして前者は每箱洋八元、後者は同八元五角の相場を示し販路共に順調なり又蠟燭は近年に至り外國よりの輸入夥しく支那品の需要者殆んど皆無となりしが輸入蠟燭中、英の鶴印、僧帽印、米の鷹印、露の烏印等は最も需用多く價格は五元乃至六元を稱ふ又同地に於ける燐寸製造は支那の時宜火柴公司及び日本の吉林燐寸株式會社の兩社ありしも時宜公司は營業成績不良の爲め閉店したるを以て目下の處日本燐寸の獨占舞臺たるの觀あり(吉林)

○京畿旱害狀況

京畿道地方にては四月末より約四十日間降雨無きを以て殆ど插秧不可能なるのみならず苗代には池沼の貯水を以て灌漑し幸ふじて枯死を支へ或は井水に依りて凌ぎつゝあるも井水亦涸渴するに至れるより苗代に龜裂を生じ苗の發育不良なるもの多く又池沼の貯水を利用し僅に一部の植付を爲したるものあれども其後漸次水量涸渇し將に枯死せんとし耕作者は手ふて引水に努めつゝあり依つて今後猶二三週間降雨無くんば其の旱害の及ぶ所恐るべきものあるべく故に或地方に於ては水田に陸稻を植付けたるものさへあり今日の狀態より推せば本年度內に於ける京畿道の米作は平年の約六分以外なるべし



◎李王殿下參內 (十四日東京支局撮影)

○六月初旬氣象槪況

(月初) 支那北部より來りたる低氣壓の東に移りたる後高氣壓は北清地方及び本邦東海岸沖方面に發達し日本海を經て朝鮮に擴張したるを以て一般に東風吹き南岸方面は氣溫低く天氣概ね晴穩にして適く低氣壓の揚子江流域に發生せるものありしも進路南偏して朝鮮に襲ふに至らざりき其結果半島は概して雨少なく釜山、大邱に十粍以上を測りたる外は何れも數粍を出でず或は無雨の所あり、例年當季南部は四〇乃至五六粍中部以北は之に二〇粍以上を測るに比し著しき寡雨にして之が爲め旱魃を訴ふる所少なからざりき氣溫は何れも一般に低度なりしが旬央以後俄かに上昇し中部東岸及び海州中央部に於ては最高氣溫屢々三十度以上に昇りたり即ち元山は七日大邱は十日何れも三一、八度を測り中江鎭は八日三一、七度に達し江陵及び京城に於ては三一、〇度に上りたるが其他は三〇に達せり而して旬平均の氣溫を平年に比すれば西部は概ね高度なりしも其他は一般に低度にして殊に南部は著差一度以上に及たり今本旬中測候所々在地に於ける雨量及び平均氣溫を示せば左の如し

地名	雨量	雨天日數	平均氣溫
龍岩浦	二粍	一日	一七度三
平壤	一	一	一八、八
京城	〇	―	一九、五
仁川	〇	―	一七、七
木浦	二	―	一九、三
中江鎭	八	四	一五、八
雄基	二	二	一二、四
城津	一	一	一四、〇
元山	一	一	一八、四
江陵	―	―	一九、六
大邱	一一	一	一一、四
釜山	一三	一	一九、三

○製粉會社問題

棚瀨代議士前川太兵衞氏等發起の下に資本金百萬圓の朝鮮製粉會社設立に決し事務所を開設したりとの東電あり右製粉會社は屢報する三製粉合同後のものなりやと云ふに必らずしも然らず棚瀨氏は朝鮮製粉會社を代表するものとするも前川太兵衞氏は內地有力實業家なれど鐵嶺製粉並に三浦製粉の杉浦與作氏と關係なき人なれば或は右三製粉會社合同の步調となり棚瀨氏等は當初の計畫を進めしに非ずやとも云らるれど聞く所によれば三製粉の合同は既報せし如く好調に進み唯重役問題のみ協商濟ますとの通電は最近も其方面に入り殊に高野三井物產京城支店長は東上後三者の間を斡旋し又相談破裂の通知もなき由に付合同結局不成立とも思はれず東京電報の眞僞に判じ難く後報を待つの外なき如し

○大阪より

大阪對鮮貿易

大阪港に於ける六月上旬の朝鮮貿易は移出品價八十六萬三千四百十八圓移入品價十六萬二千四百六十八圓にて五十萬九百五十圓の移出超過なり之れを前年同期に比較せば移出に於て三十九萬二千四十五圓移入に於て十萬二千七百十九圓增加せり移出重要品中增加せるは綿布綿織糸にて清酒は減少せり又移入重要品中增加せるは豆類、牛皮及び水牛にて減少せるは米及び籾なりと移出金銀貨は皆無なるも移入金銀貨は四千圓なり

▲朝鮮輕鐵增資內意

朝鮮輕便鐵道の工事は以來着々進行を告げ大邱阿陽間延長約十五哩は近日竣成の筈にて其開通期は來る八月の豫定なるが同線は同鐵道全線に對する第一着線として茲に先づ一部の開通を見る譯なりと而して新線の敷設特許を申請する筈なるが此等の工費を加算せば到底三百五十萬圓の現在資本金丈けにては不足を告ぐべきを以て追て少くも一千萬圓に資の內意ありと云ふ

▲南滿糖業開拓

南滿製糖會社橋本專務は過般東京より臺灣を視察し數日前奉天に歸著せしが目下臺灣製糖額は七億萬斤を下らざるやにて其發達の旺盛なるに驚喚し滿洲に於ても同樣の發達を期すべく臺灣より蒸汽鑵一個を搬へ來れり同鑵は現在戰爭のため輸入杜絕し臺灣に於ても僅に三個を有するに過ぎざる程斯界に珍重せらるゝものにて此鑵を使用する時は一日優に四十町步を耕作し得べしと同會社は明年を期し之に據りて一大糖園を開拓するの考案なるが唯問題とすべきは土地の商租にして現狀に於ては斯る大地積が果して圓滿に商租し得らるべきや甚だ疑はしくこれに就ても商租問題の解決は最緊要事たるを知るべしと(大阪支局)

○肥塚氏の寄附

東亞牧塲主肥塚正太氏は今回京城學校組合會議員改選に際し當選せし記念の爲め學校組合基本財產の內へ金子五十圓の寄附を申出でたり

○咸北牛皮改良施設

昨年中咸北道移出牛皮は五十三萬六千五百三十三斤價格二十八萬六千四百三十四圓にして六年に比し十三萬四千七百三十斤一萬七千四百五十圓を減退せるも之れ南鮮地方に出廻增加の結果にして產額に減退を來せしに非らず今や牛皮は北道の主要輸移出品たるの地位に上れるを以て本年六月一日より牛皮乾燥取締規則を實施し之が改良を圖る事となれり(清津)

○降雨と慶北棉作

慶尙北道各地に於ける陸地棉は播種後雨量不足の爲め概して發芽良好ならざりしが過般一日の降雨に依り非常なる好影響を受けたるは疑ふべからず當時の雨量は尙州郡三十三粍義城郡三十四粍安東十七粍にして醴泉郡は雨量至つて尠く北部一帶又同樣の雨量なるも道內全耕作地よりいへば蘇雨に霑へる部分約八割强なるべしと(大邱)

○晉州地方の潤雨

久しく降雨無く農家一般に困却し居たるが十二日の降雨は單に農作物を蘇生せしめたるのみならず水稻の植付にも着手するを得、麥の刈入と相俟つて農家は頗る多忙を極め居れり(晉州)

○光州の秋山大將

軍司令官秋山大將は十六日午後二時を以て光州に來著官民多數の出迎を受け直ちに東雲旅館に入り同日及び翌日に亘りて光州守備隊を檢閱し十七日正午發木浦へ向ひたるが十六日は宮木長官は同大將を官邸に招待晩餐會を催したり(光州)

○銀相場の大連

△世界の銀相場地たらん

六月十四日 特派員

大連重要物產取引所に於ては六月一日より錢鈔部を新設し其の取引機關として錢鈔信託株式會社を設立し從來の錢業公所を閉鎖せしめて之を信託の手に移したるは既報の如くなるが右は一面に於て日本商人の發展なれども他の一面に於ては支那人の利權を奪ひたるが如き觀あり要するに三井、小寺、湯淺等の巨商を始め所謂大連の輸出商或は油房筋が一齊に銀の需要を高め進んで其の取引機關を作りたるものにして信託會社以來每日大概二三百萬圓の大取引あり殊に此の數日來銀相場暴騰して倫敦銀塊は三十七片十六分の十五より八片に移り連日二點高五點高を稱して今や實に三十九片十六分の一てふ二十五年來の珍高値を呼び錢鈔の金銀相場は金票銀百二十三圓以上に昇り歐洲戰前平均七十五圓時代に比すれば實に二倍の高値といふべく之が爲め日本の輸入品は頗る行惡しく支那の產物は輸出に割惡く經濟上如何程の打擊なるや知る可らず而して這は喜ぶべき現象に非ずして極めて悲しむべき現象なり即ち過日大連商業會議所の席上に於て大田鮮銀理事を論せしが如く滿洲の幣制を誤まり日滿貿易を阻害するもの之に過ぎたるは無く是非とも滿鐵都督府等の一致協力の下に之を改革すべきものなるが事實は益々銀相場の沸騰を演じ此分にては上海に於ける銀相場より却つて大連の方發達し且つ既に實力ある倫敦相場は單に形式に過ぎずして印度と支那とは世界銀貨國の二大關なれば此の數年後には大連も或は世界銀相場の本場となるに至るやも知るべからず勿論米國の銀塊は最も重要の關係あるものなれども同國と雖も每日數百萬圓の大取引ある譯には非ず只機械工業其他裝飾品の需要より銀の關係重要なりと云ふに過ぎず、單に市場の取引商の多きを以てせば大連は既に今日に於て世界第一に位するかの如く思はるゝ位なり上海と雖も其の取引は每日數百萬圓に達せざるにあらずや此くの如く大連の日支商人が金銀の賣買相場に熱中するは是れ甚だしき投機にして肝要の日支貿易が其の影響を受くるは寧ろ遺憾の至りといふべし

地方版

═仁川═

▲米檢成績 六月上半期の輸移出檢查成績は從來の成績に比し良好の結果を得たるは地方の米を更に再調製したると又買占著しく貯藏したる地撈調製の漸次向上したるに因る本期の檢查成績は優等九九五叺上格一、四九[illegible]、以下格三、九五〇叺計六、四四一叺とす之を五月上半月の成績に比れば本期の總數に於て五百五十叺優等九九五叺上格九三八叺の增加にして下格九八三叺を減少せるのみ而て前期以來不合格米の混在せざるは調製上深甚の注意を拂ひし者と言ふ可しと松本主任は語れり

▲畑師來仁 金光教教監播大數正畑德太郎氏は仁川視察の爲め十七日午後一時四十分仁川著市中一巡の後同日京城に向ふ

▲明照說教 十七日より御ナ德山崎辨榮上人隨行員として宗教大學出身土屋觀道氏は十七日午後一時四十分來仁十七日より廿日迄の四日間午後七時より淨土宗明照寺に於て說教をなす

▲名簿確定 仁川商業會議所選擧人名簿は十七日縱覽に供し二十二日確定二十五日選擧を行ふ

═光州═

▲水道起工式 光州水道は愈々本月八日實施設計及び補助金も認可されたるより直ちに起工するに決し十七日迄に水源地一萬三千坪山林五十町步の買收を終り廿四五日頃を卜して起工式を擧行すべく目下道當局に於ては頻りに之が準備中なり

▲岡山縣視察團 岡山縣視察團商品草縱鄉事會員外七名は十五日午後二時入光したるが光州關係官廳職員光州商工會議員同判官員等多數出迎へ一行は直に道廳に到りて林務產技師より一場の訓話を聽取し後物產陳列場を參觀して東雲に入り商工會及岡山縣人會等の催しにかゝる茶話會に臨み午後六時半發の自働車にて木浦へ向ふが木浦を多島海の漁業視察を爲し海南郡に於て岡山縣移住漁村豫定地を視察する筈なり

▲助產婦卒業式 光州慈惠醫院に於て養成中なりし助產婦七名は今回卒業せしを以て十五日午後一時より卒業證書授與式を擧行し宮本長官驅部長警務部長も臨席して一場の訓示を與へたり

▲深田囑託講演 總督府囑託深田理學士は十五日光州署にて度量衡器取締に關し一場の講演を爲したるが各郡廳員小學校職員等約百名來聽せり

▲花田法院長赴任 晉州支廳巡廳中なりし花田光州法院長は十六日午後三時歸任せり

═晉州═

▲理事會終了 本道金融組合理事會議は十一日より開會十三日を以て終了したり

▲春蠶上簇 當地附近の春蠶は悉く上簇したるが其狀況を聞くに何れも近年の良成績にて繭の品質優良にして價額も前年より幾分高價の有樣なれば年々增加一方の蠶業は益々發展すべく又來の桑の植付も多く自然好況なれば秋蠶は又た一層希望者多き模樣なり

▲繭の共同販賣 晉州附近の春繭共同販賣は左の日割を以て執行すべく決定せり

七月一日 晉州　六月廿八日 南海郡
七月八日 安義　七月十日 咸陽
六月廿六日 河東　七月三日 陝川
七月六日 居昌　六月三十日 統營
密陽は六月十五日同廿四日同廿日(以上三回)
蔚山は七月五日

人事消息

▲矢島黃海道第二部長 十七日朝退京

▲神野咸南警務部副官 ▲赤澤江原道警務部副官 ▲馬塲全南警務部副官 ▲角田全北警務部副官 同上

▲高橋慶州警務部副官 ▲岡田平南警務部副官 ▲高瀬黃海道警務部副官 ▲中山慶北警務部副官 ▲野中忠北警務部副官 十六日夜退京

▲森川公立小學校修學旅行團 十七日午後退京

▲西部龍七郎氏(鎭南浦商業會議所書記長) 十六日夜內地へ

▲堀部兵中尉(龍山憲兵隊副官) 同上

▲仁川永樂學校職員以下三十七名 十七日午前入京

▲古海警務總長一行五名 十七日午前[illegible]へ

▲服部新信氏(京畿道警務部長) 十七日午[illegible]東上

送千葉鹿峰先生歸京

素堂 渡見 論

攜忠不成吟。惜別有勃牽。先生昔紅顏。筆下起健鶴。槿域爲名騎。悲歌最起日東。顧既三韓遺。質文兩部怨。聖人[illegible]。蒼生千載吾。警發。枕劍再渡海。行李仰倉卒。半島撤藩籬。至寶出嚴鐵。閑雲寄心千古傳。功名竟紛紛。白首存。不如比翼鴨綠川。名山念名延。[illegible]

●紫外線――驚くべきその偉力

◘水銀石英燈とは何んな器械か◘

▣七色の美しい光線――微妙なる作用――高山療養▣
▣の効果――人工的の光線――總督府醫院にて購入▣

總督府醫院皮膚科長 渡邊晋氏談

元來太陽の光線をプリズムに由つて分けて見ると虹の表れる樣な紫と紅を兩端に七色の美しい色が分れる事は人の能く知つて居る所であるが此の

◘七色の光線以外

日光中には人體を始め他の動植物に必要缺くべからざる特殊の作用をする光線が存在して居るそれは直接吾人の眼には見ねないものである、此の内紫色光線の一番端に列なる最も短い波長を有する光線は紫外線と稱して日に當つて色が黒くなり又は消毒殺菌其他微妙な作用をするものであるが此の紫外線は地上に來る迄に空氣中の水分又は塵埃熱等の爲めに吸ひ取らるゝ事が多い從つて

◘空氣の澗渇した

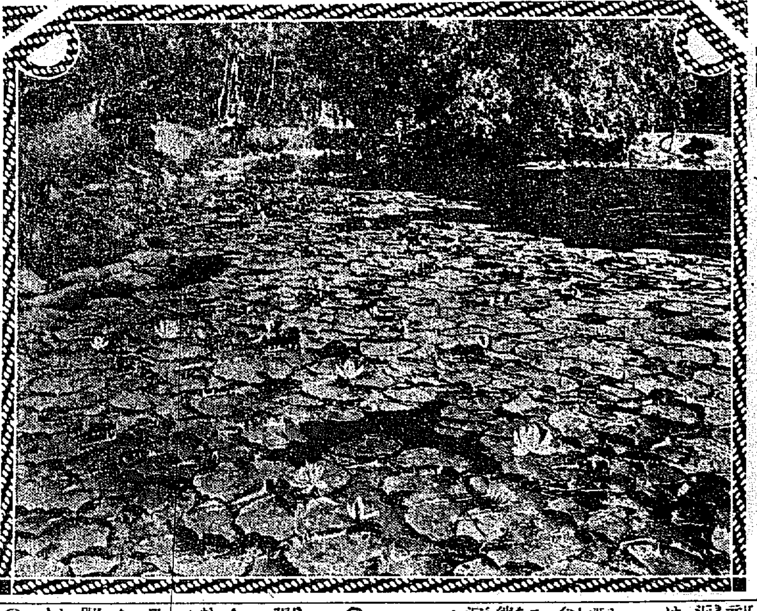
都會地に居る人よりも空氣の清澄な海濱高山等に住んで居る人が健康だと云ふのは畢竟後者の境遇に在る人が紫外線の影響を受くる事が多いからである即ち近頃日光療法乃至高山療養と云ふ事が盛んに成つて來た譯であるけれ共太陽の光線と云ふものは晴曇晝夜等の別に由つて勝手な時に光を見ると云ふ事は一寸困難で紫外線の御蔭を蒙る譯に行かない、此に於てか「フインゼン」と云ふ學者が

◘人工的に此の光線

を作り出し度いと研究の結果案出したのが水銀石英燈と稱する醫療器械でU字形の水晶管内に在る水銀と電流の作用とに由つて起る特種の光線が更に水、水晶板等を通す事に由つて前述の紫外線に酷似した螢光を帶びた光線を放射する裝置に成つて居る此の光線――器械は五六年前始めて出來たもので戰亂の結果輸入全く杜絕してる現狀で非常に高價なものと成つて居る最近

◘吾が總督府醫院は

率先米國製の器械を購入して盛んに治療上に偉力を示して居るが此の光線は主に病的細胞を破壞する作用を有するもので皮膚病其他の脱毛症に極めて有効である即ち濕疹、狼瘡、禿頭病其他外科結核と稱する關節とか骨とかの結核及び種々の創傷等應用の範圍は仲々廣い如斯最新の醫療器が續々吾が半島に設備せらるゝ事は誠に結構な事で、エッキス光線、ラジユウム放射線等と共に此の水銀石英燈は理學的治療器の隨一である此等新器械に由る理學的療法と云ふものは今後益々發達して醫學上貢獻する所偉大であらう



睡蓮――曙の光たゞよひ水精らの眞白き顔や睡蓮の咲く

●女醫に動員

露國政府は國内に於ける女醫に對して動員令を發せんとす（倫敦電報）

●京城水道夜間斷水

十七日夜より停止=水を節約せよ

據て既報道したる如く京城水道は數旬の旱天續きに加ふるに輓三日前より急激の炎熱を來たしたるを以て水源地よりは

◘晝夜間斷なく 送水しつゝあるにも拘らず市内の需要著しく增加し十六日夜の如きは遂に光熙門外配水池の水位最低僅に四尺（前日は八尺平日は十數尺）に降り當日の使用水量は遙に給水能力を超越し之を使用者一人に割當つるときは約六斗餘を使用するに至れり茲に於て到底十七日夜の給水は覺束なかるべきに付夜間斷水を決行することゝなり各官衙、學校、病院、工場、兵營其の他重なる

◆給水家に對して は豫告を發し尚一般給水家へ通告書を配付しつゝあり假令夜間斷水するとしても右の如き給水量增加にありては更に晝間斷水の餘儀なきに至るやも計れざるを以て使用者は斷水時間を豫報する爲め此の際一層の注意と公德心とを以て放水、濫費等を愼み水の節約を期し尚ほ午後八時の停止時刻至らば直ちに閉栓し決して開き放しとせざること且つ給水停止中は徒に給水栓の開閉を試みざる樣注意あり度しと當局者は語れり

◆珍らしい朝鮮の鳥

☆☆☆朝鮮に産する啄木鳥の種類☆☆☆

【京城高等普通學校教諭 森爲三氏稿】

小鳥は多くは動物學上鳴禽類若くは攀禽類に屬する、朝鮮では大きな鳥よりは小鳥の方に於て内地と異つた珍しい且美しい鳥が多い、多くは巧みに巣を造り妙音を發して囀る、食物は主に蟲類である、今其中の著しいもの十數種に就て述べん

◆朝鮮の啄木鳥 啄木鳥は動物學上攀禽類に屬する何れも嘴硬直で鑿狀をなし舌は細長くて其先に逆鈎を具へて樹幹を叩き其の中に木蠹蟲の有るか無きかを檢し若し蟲が有れば引き出す樣になつて居る、趾は二本は前に二本は後に向ひ且つ尾羽硬直であるから體を樹幹に支ゑ攀走するに適する、頭は大で頸には嘴を樹幹に叩きつける強い筋肉がある主に森林の樹上に棲み樹幹を巧妙に攀走し輪回して樹幹を叩き回り蟲を啄食する、巣は

◆主に樹洞中で 底に枯草苔蘚などが敷かれてある、卵の數は四個乃至七個である、東萊道抱川郡陵に赴くと此の鳥の巣が容易に見付かる、此の鳥は樹木に大害ある木蠹蟲を啄食するから有益なれど、一方には餘りに樹幹を叩きて穴を穿ち遂に樹木を枯れさす恐れがあるから利害相央ばすと云つてよい、世界に産する啄木鳥の種類は五十屬三百四十五種ある、濠洲を除く外は殆んど

◆世界各地に棲 んで居る、朝鮮にはコゲラ●アムールコゲラ●ヤマゲラ、アカゲラ、エゾオホアカゲラ、テウセンアカゲラ、クマゲラ、キタアカゲラ、キタ、キの九種類ある、此の中キタ、キと云ふ啄木鳥は今日朝鮮と對馬との外には産せないと云はれて居る珍鳥である、テウセンオホアカゲラと共に朝鮮特産と云つてもよい、此の鳥は今から二十數年前にリツチヤーヅ氏が對馬に於て初めて採集して世界に知れたのである、夫れであるから英名でリツチヤーヅウードペツカーと云ひます證は朝鮮産啄木鳥類中

朝鮮の啄木鳥

◆最大の部類で 殆んど烏へある體色は主に黒であるが腹部腰部腋下部及び翼の風切羽の先は白である、尚雄は頭上に緋紅色の毛冠を具へ甚だ美麗である、深山樹木鬱蒼として晝尚暗き邊に魔の樣に飛來する、一種本種に體の大きさが似て全身眞黒の啄木鳥があるクマゲラと云ひ此の鳥は分布が廣くて歐羅巴の北部から西比利亞を經て北道迄棲んで居る朝鮮にも隨分多い、以上

◆兩種とも大形で あるから樹を叩く音は凄しく遠方迄トツトツ〳〵と響き、鷹の樣な銳いキヤア〳〵と云ふ叫聲を發する又大形であるから樹に穴を穿つことも著しく獰ろ害が多い方である、然しキタ、キは前にも云つた通り世界の珍鳥であるから是非保護し絕滅しない樣にしたいものである

●豺を撲殺 咸南德源郡豐下面元山里高延濟（三）は五月二十九日附近の應峰山中にて突然三頭の豺に襲はれ内一頭を撲殺せり

●師匠淨瑠璃と總見 既報の如く竹本彌尾太夫歡迎淨瑠璃會は來る二十日初日の事に決定したるが前景氣頗る盛んにして各連中の總見等もある筈なるが初日は梅若出演のため若菜會連の總見ある由

讀者文藝（一等に五十錢 二等に參十錢を呈す）

△一口噺『其時々の事』

○讀者『大郎で昨年末頃髮切りをやつた犯人が捕まつたとよ』拔作『矢ツ張り床屋だらう』（一等） 龍山 嵯峨の家

▲啞者と盲者の腕較と云ふ題を見た 與太『啞者が勝ときまつてゐるわー』 京城 菊子

▲與太『支那が又元の樣に成たとよ』八公『夫ぢや急いで辮髮を切つた奴は困るだらう』 長谷 ちまき

▲讀者『政府では今度二十圓紙幣を發行する趣』與太『ヘヘアするとお紙幣が餘ると見へるね』 抱川 次郎

●釜山二日取組 釜山に於ける東京大相撲十七日（二日目）の取組は左の如し

（友の山 龍ヶ崎）（矢筈山 友波り）（荒玉 大刀嶽）（小嵐 國見嶋）（若島 駒島）
（紅葉川 若瀬川）（伊勢の海 黒瀬川）（土州山 大刀山）

◎壽座替り狂言 壽座に於ける藝術座は三の替り狂言として十七日より三日間爆發ケテキー、エチボス所作京人形を演ずる筈なりお艶殺しは歌舞伎劇の模倣として失敗に終りたれば西洋劇の飜譯ものは此の一座の特長なれば見物なるべし

◆呪はれたる女の運命（三）

俠氣と意氣と

お梅は美人樓から染之助と名乘つて出た、しかし出る迄に樓主の小林彌兵衛とお梅との間には一悶著あつた、それは彌兵衛が東京でお梅を抱へた時の口約は何處までも藝者として抱へられた心算で居た。處が平壤へ著いて見ると自分の抱へられた家は遊廓の眞中にあつて幾人の娼妓が夕方から淺揃ひ張り見世の格子の中から客を呼んで居るのであつた。之れは飛んだ處へ連れて來られたと氣の付いた時はもう遲かつた。成規の手續が濟んで彼が見世に出る迄には可成にゴタ〳〵が有つた。

『お前は娼妓に成る事を承知して來たぢあないか、それに今更何んの彼のと御託を捏ねるナア借金でも踏み倒す考へだらうヘンお前だちの好いたやうにされて堪まつたものぢやねエ、彌兵衛を見損なつちやあ不可ねエせ朝鮮彌兵衛を』と樓主の權幕は怖ろしかつた。

お梅は幾度も警察に驅け込まうかとも考へて見。しかしながら考へて見れば彼の身に取つてはそれも能きなかつた

『そうだ自分は人殺しをしてまだ監獄から出て來たばかりぢやないか。警察で調べられればすぐに前科が露るだらう。前借金は右から左へお母が遣つて終ふし。人殺しの肩書き付では一寸抱へて呉れる主もありそうもしないし』彼は後暗い自分の身の上と便りない前途の事などをも考へて見た

「何にも罪滅しだ。どうせ泥塗みれの體だから」彼は斯うあきらめて見世に出る事に成つた。お梅の染之助の評判はパツと高く成つた流石其の道の老巧者である彌兵衛が見込んだ丈あつて彼は掘出し物であつた。彼の美しさは玆の一廓を壓して耀きいでた。俠氣と意氣とは彼は生れながらに持つて居つた。それに合錢のやうな落付きと女優の如うな華やかさとを併せて有つて居た。彼の許に足繁く通ふ男は非常に多かつた鑛山屋も居れば官吏も居る實業家も有つた金縁眼鏡を掛た某新聞記者も有つた。兎に角彼は不平は絕わなかつたが此の廓の全盛を極めてゐた

髮を黒く長くつやを出しさらくとして髮のぬけを防ぎ髮あかつかざる事妙なり

愛讀者優待
東京相撲 木戸割引券
本券御持參の方に對し一名限卅錢の木戸を廿錢に割引致候
京城日報社
馬山興行中

廣告
夏の胃
夏は誰も胃が弱り、水アタリ、暑氣アタリ食傷等の吐瀉病に罹り、其他の餘病を引起す恐あり胃弱者は勿論、無病者も常に胃活を家庭に備へて、日々の持藥とし玉ふ肝要なり

定價（胃活錠）二圓、壹圓、五十錢、廿錢（胃活）一圓、六十五錢、廿五錢、十錢、四十五錢
請賣全國海外要所の各藥店にあり
本舖 東京・大阪 山田安民藥房

京城水道 給水制限廣告
配水量不足ニ付左記ノ通給水ヲ制限ス但シ土地ノ高低及水量ノ關係ニ依リ各給水栓ノ吐水ニ遲速アルヘシ
一 午前五時給水開始午後八前給水停止
大正六年六月拾七日
京畿道

腦病良藥 レーベン
岡田博士を初め森、日向、飯島、稲田、内田氏等十有餘名の諸大家が有効を證明或は推獎せらる、本品は最高貴藥腦の營養素リンサンを多量に含有する無比の良劑なり故に腦病、神經衰弱、頭痛、眩暈、不眠、記憶力減退等の腦病患者は最終の試験として本劑を服用あれ。レーベンは容積と體裁を貸らず服用量極めて少くして効顯極めて大なり
藥價（三十錢・五十錢・八十五錢・一圓六十錢）
東京銀座弓町 中南定太郎 電話京三〇八番 振替東京七番
大阪安土町堺筋 中南定太郎 電話本三〇〇七番 振替大阪三四四番
信用ある藥店に有り無ければ直接注文乞ふ

水道斷水につき 緊急廣告
水道斷水されて火を消すに水なし。火災の危險言ふ可からず。此時に當平は平素の愛顧に酬ゆる爲め左記消火器を全市民に提供仕る可く候
飛行機印粉劑消火器 一本 定價金二圓也
貸付方法 二本に付 一週間 金二十五錢
電話六二四番 熊平支店 京城本町二丁目

移轉擴張廣告
元南米倉町 大正齒科醫院改
稅所齒科醫院
京城旭町二丁目八一（府廳裏通り） 取次電話一三八九番

配劑の妙
適確なる藥効は藥劑の巧妙なる配合に因つて顯るハカリ印のヘブリン丸は其配劑の優れたる寔に理想以上なりと諸大家は之を賞讃せりカゼは勿論總て熱病に罹られたる場合には速かにハカリ印のヘブリン丸を服用して熱を解き全快せらるべし

皮膚病 黴毒 痳疾 泌尿器科
注射療法 手術 並に内外科一般診療
京城太平通二丁目（電話三五八番）（多田病院跡）
扇田醫院
院長 醫學士 扇田豊

お髪の裡へ
定價 三個入金四十五錢 一個入金十五錢
各地小間物化粧品店藥店雜貨店にあり
京城代理店 新井藥房

◎藤外夫妻の退院 去月二十五日拂曉強盜の爲め負傷したる釜山大廳町…

…に常選せる高木壽氏は第二回目の當選…宴を開き知友… 十六日夜花月…

同エ…ヒークマン、太刀山峰右エ門、伊勢濱國太郎、淺井佐一郎、向竹松、樋原彦、同信…

よし子、泉米芳蔵、内山憲吉、奥田ゆき、隈田まさ子、同眞一、同築一、大西くりの、永田梅吉、…

…八、韓玉室、山田元吉、波多野重太…

課題及び募集規定

募集規程 ▲用紙は適當なるも同形の洋紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲…

天氣 晴れ時々曇り ▲六月十八日…

おとぎばなし　蜂と青梅

ある御邸のお庭に、梅の木が一本生えてをりました。その梅の木の一番長い枝の下の方には、好い格好をした小さなお池がありました。

そのお池に、一匹の蜂が水を飲みにまゐりました。蜂は水を飲んでから、暫くお池の淵の石の上で休んでをりました。それを見た梅の木の梅の實の一つが、

『おい〳〵、お池の淵の石の上に、蜂が來てゐるよ。どうだあの蜂を殺してやらうぢやないか』

と申しましたると外の梅の實どもは、

『それは面白い、殺してやれ〳〵。』

『おや俺が蜂の眞上に落つこちて殺してやるから見物をしてゐるが好い。』

と、ちやうどお池の上まで伸びてゐた梅の木の枝に實つてゐる一つの梅の實は、かう云ひながら、お池の淵の石の上で休んでゐる、蜂の眞上にボンと落ちました、蜂はその梅の實に頭を打ちつけられて、可哀さうに直ぐに死んでしまひました。

『どうだ巧く行つたらう。』

と落ちて蜂を殺した、梅の實が、下から得意げに申しますと。

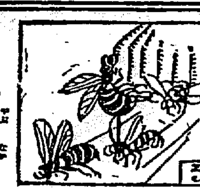
『巧く行つた〳〵、萬歳!』

と梅の木の枝に實つてゐる、二十ばかりの梅の實どもは、聲を揃へて褒めました。

するとそれを殺された蜂のお友達の蜂が塀の上から見てゐまして、

『ひどいことをする奴等だ、何の罪もないものを殺すとは、何といふむごたらしい奴等だらう、好し、一番、死んだお友達の敵討をしてやらなくちやならない』

と獨言を云ひながら、お邸の裏手の藪の中へ飛んで行きました。



藪の中には、大きな〳〵蜂の巣がありました。その蜂の巣の中に飛びこんで行つた蜂は、大きな聲で、

『大變だ〳〵。今お邸のお池の淵でお友達が殺された。』

と申しますと、蜂どもは驚いて、

『殺したのは誰だ〳〵。』

『殺したのは梅の實だ、青梅だ。青梅どもが相談して殺したのだ。』

『どうして一體殺されたのだ?。』

『ボトンと青梅が上から落つこちて殺したんだ。敵討をしようぢやないか。』

『勿論だ。敵討をせずに置けるものか。さあ行かう。梅の木に實つてゐる青梅を、一つも殘さず腐らしてやらう。進軍、進軍!!。』

と蜂の巣の中にゐた蜂どもは、ブーン、と鬨の聲を上げて梅の木へと飛んで行き、

『青梅ども!貴樣達は、好くも相談して俺達のお友達を殺したな。一つも殘らず腐らして了つてやるからさう思へ……』

と云ふより早く、二十ばかりの青梅に飛びついて、お尻の針から、チユツ〳〵と毒を注ぎこみました。青梅どもはうろたへて、

『御免!御免!!』

『何が御免だ。今に腐つて落ちて了へ。』

と蜂どもはブーンと鬨聲を上げて、裏手の藪の中へ引揚げました。蜂に毒を注ぎこまれた二十ばかりの青梅は、その日から腐り出し、明けの日は、すつかり腐つてボトリ〳〵とみんな落ちて了ひましたとさ。(たけり)

商專滿洲見學

仁川商業專修學校本年度卒業すべき生徒十數名は來る八月末頃仁川より海路大連に到り奉天長春等を經て安東縣通過の豫定にて滿洲見學をなす由なるが教師二名之れを引率すと(仁川)

ニール夫人來鮮せん

今春來京都臨川內栗棘庵に假寓して東福管長に參禪辨道せるブラツセル大學教授ダビツトニール夫人は言語不通の爲め獨參に頗る不自由を感じ迚も豫定年限內に研究不可能なるを自覺し且つ目下滯在せる栗棘庵は濕地にて衞生上好ましからず旁々近々日本を後ろにして朝鮮に向ひ彼地に逗留して佛教研究の所志を貫徹する所存なりと(大阪電局)

足駄や靴の黴び　梅雨時の手入れ

梅雨に入りましたから何でも黴が生ねて困りますので餘程注意を怠られぬやうに手まめにしなくてはなりません下駄足駄の如きものは土を落し洗つて仕舞つて置きましても

▲何時の間にか　黴が生ねて來ますから時々下駄箱から出して日に乾かさなくてはなりませんが足駄なれば先乾かしてから爪掛けや鼻緒を綺麗に拭ひ黴を取つて更に十分乾かして仕舞ふのが宜しう御座います下駄なれば黴を拭き取つてから乾かして仕舞つた方が宜しう御座いませう雜巾は十分乾いたものでなくては拭き取つても甲斐がありません足駄なども梅雨の中天氣のよい日を選んで少くとも二三回乾かして置かねば緖が腐つて直に穿けなくなつて了ひます

▲靴は一層黴の　生ゐるものですが元々油や蠟が著いてゐますから止むを得ませんけれども水杯につからぬものなれば短時間天日に出して乾かした後仕舞ふた方が宜しう御座います併し水につかつたり土を洗ひ落したものなれば蔭日に十分乾かしてからお仕舞になつた方が宜しう御座います水氣のあるものを急に天日で乾かすと皮が硬くなります靴屋さんなどでは陳列棚の中にある新しい物でも梅雨の中は黴が生ねますから梅雨の上りに一旦天日で乾し黴を拭き取つて夫れから仕上をかけ直すさうです

學校で作業服

仁川高等女學校にては家事實習(割烹)園藝掃除等作業の際衣服の汚るゝを防ぎ且つ家庭にありても將來作業服を用ふる習慣を養成せしむる爲めに今後作業服を用ひしむる事と定めたる由なるが其材料の如きは襤褸を要せざる樣古き木綿單衣などを以て調製せしむ可しと(仁川)

指を切て瀕死の夫に血を嚥す　＝數年間病夫に仕へし貞婦の迷信＝

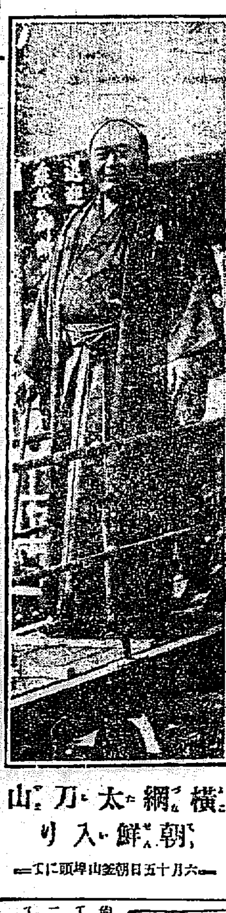
仁川內里張某は數年前より重症の肺病を患ひたるより京城セブランス病院に入院加療中の處十數日前より危篤に瀕したるを以て同人妻金氏(三十)は悲嘆の餘り左手の

▲無名指を第二節　より切斷し滴る鮮血を夫に嚥ませ只管全癒を祈りつゝ有りしが其後藥石効ありしと見ね漸次恢復の徵現はれたるより大いに喜び二三日前同病院を退院の上鐵道にて歸仁したり然るに又復自宅に於て

▲瀕死の狀に陷り　たるより同女は更らに中指を切り再び血を服ませたるも約一時間の後遂に死亡したりとの事にて同女は其後喪に服したるまゝ日々夜々

▲聲を放つて泣き　悲しみ居る由なるが隣家の人々は數年間病夫に仕へたるさへあるに指迄切りし同女の貞操に感じ合ひ居る由、因に鮮人間には未だに斯る迷信行はれ居るも此は

▲無智の迷信にて　此れが爲めに病を癒するが如き事は沙汰の限りなれば同女の心掛は天晴なりと雖も斯る迷信に囚はれざる樣一般の注意を要すと(仁川)



横綱太刀山　朝鮮入り
(六月十五日朝釜山埠頭に於て)

京日愛讀者の特權

東京大相撲全鮮各地巡業中

東京大相撲太刀山、伊勢ケ濱一行の鮮滿巡業團來鮮に付我社は例に依りて一行の景氣を添ふる爲め京城日報愛讀者各位との間に立ちて種々興味と利便とを兼ねた問題を提供致す事となりました我社は既に巡業先乘年寄熊ケ谷と協定し大相撲の朝鮮巡業地

釜山　馬山　大邱　金泉　大田
群山　京城　仁川　平壤　新義州

の各所に於て興行中其期間通用の

京城日報　讀者木戸大割引

券を日々本紙に刷り込み切拔使用せらるゝ樣にして提供致します即ち木戸錢は三十錢の定額を本紙刷込みの割引券持參の方に限り二十錢で入場が出來るのです更に京城興行中は本社、地方巡業中は各地の重なる支局にて

幕內お好み相撲＝飛付五人拔

など好角愛讀者諸君の爲め特に出さしむる事とし、角道の興隆上大々的氣勢を添ゆる筈になつて居ります

溜の砂

●情夫六十三　横濱市吉濱町遊廓なか方同居中の角田きよ(二二)といふ私娼は料理屋飲食店等に奉公し廻りお客の金品を盜んでは自動車運轉手、鳶人、馬丁など情夫に注ぎ込むといふ曲者で山口某外六十二名の情夫ある旨自白し六月八日裁判所に送られた

●游泳免許藝妓　德島市內町畑掃家の抱藝妓千代香事桶利おさむ(二〇)は[illegible]那賀地村の種木安次(二七)方に行つて歸途旅費を使ひ果したので十三日朝高松船橋島丸の甲板から鳴門海峽に投身したが游泳免許を持ち居る程の女とて如何しても身體が沈まず漂流して居る所を救はれた

▲木乃伊大蛇　千葉縣小湊の誕生寺境內の溜池から此間長さ一丈五尺周り一尺五寸もある大蛇の木乃伊を發見したが何でも百五六十年經つて居る物で研究の爲め東京の帝大へ送つた

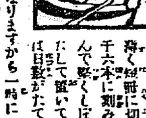
▲稀な女大賊　岡山縣御津郡建部村生れ瀧崎きな(二九)は常盤お秀といふ綽名附きで大阪中村扇太郎の弟子中村成若と內緣を結んだが後に嫌はれたから成若を殺害しやうとしたが果さず朝鮮門司地方で活躍となり附婦となり女中奉公し大賊を働き[illegible]變裝を應用して令孃になり夫人に化け患者に裝ひ汽車で稼いだ金で[illegible]やうとしてゐる所を十二日福岡署で捕まつた

▲恐れな殺人　兵庫縣三原郡榎列村廣田山田長太(六八)は二女さわ(二九)が色情狂になり夢中で裸體で驅け廻るといふ始末を悲觀し十一日夜さわを絞め殺した

▲醫學生の墮落　門司市阪谷町二丁目旅館本屋某の醫學生田洪藏(二五)は熊本市二本樹布袋樓の娼妓竹田ちよ(二二)の兩名は本月八日夜宮崎に行つて情死を遂げた

▲金と世を捨つ　相模小田原町士族[illegible]會次は由緒ある藩士の末だが維新以來此の世を儚みて無欲で通したが先月二十五日家出して行衛不明となつた家族への結果同人方の床下から現金五千圓餘り遺入つてる醬油樽が出たが同人は三十一日三崎海岸に屍體となつて漂着した

台所　その日その日



▲蕪菁の膾　大蕪菁を薄く短冊に切り人蔘を細く千六本に刻み一緒に鹽でもんで堅くしぼり三杯酢にひたして置いて食べますこれは日數がたてば味がしみて一時に澤山こしらへておくことが出來ますつけたところに赤唐辛子二つ切位にしたのを入れておくと味がひき立つて結構です串柿を一緒に漬みこんで酢につけても宜しうございます

一口演藝案內

日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店　櫻井町　大正館　電話八七三
六月十三日より提供する特別大寫眞　○實寫ロンバデー鐵道　○滑稽チヤーリーの門番　○舊劇雪崩　○米國ブロードウエー會社傑作　▲人情劇感涙　全三卷　友情厚き二人の青年互に其の運命を異にし一人は法廷に立つ辯護士となり一人は被告となりて法廷に[illegible]　○新派悲劇松山騷動犬上刑部　全三卷　[illegible]　○滑稽活劇チヤプリン新聞記者　二千呎　○米國キーストン會社傑作

明治町　浪花館　電話二六〇
○女浪花節界の泰斗廣澤夏[illegible]一行　今回當地に來着御好みに依り特別興行として目下開演　△佐藤又一郎(菊若)△小栗判官(吉田奈良子)▲幡隨院長兵衛(菊六)阿波鳴門(京山有生)▲義士傳俊德丸(夏奈)▲千[illegible]

京城壽町　壽座　電話五七八番　松井須磨子一行

東京小林商會活一手代理店　米國ユニヴアーサル會社特約　早川演藝部直營　有樂館　電話(階上)四九七番(階下)二〇五番
◉六月十五日より公開特選寫眞　▲活動物學喜劇フラーパツプ　現代人類界の落伍者が尤し新しき而し奇想天外なる天荒の珍打つて世に生れたる人殺株式會社と云ふ?　▲前代未聞大滑稽『誤殺』一名人殺請負株式會社　▲米國南部テキサツ州の出來事、犬の報恩!三日飼つて三年恩を忘れずと現代人、犬に劣るなきか　▲教育參考『愛犬の救ひ』地文人文人類學の好資料教育　▲米國ユニヴアーサル會社傑作北米アラスカ紀行　波瀾は益々重疊、事件は益々迷宮に入る抑ケリーとパトリチヤーの奇しき運命は如何に　▲第四『紫の覆面』第七編第八編　▲東京小林商會最近の傑作　生死所なく吉凶偶然に關すと悟り直諫削髮栗山大膳は筑前五十二萬石黑田の家の妖雲を排し克く其國の傾かんとするを支へ其身は忠義の犧牲となり芳を竹帛に垂れ日本三大忠臣の一　▲黑田騷動『栗山大膳誠忠錄』全五卷　◎出動俳優　毛谷主水(片岡市女藏)△黑田右衛門佐(市川箱十郎)△栗山大膳(市川升十郎)△星野石衛門(市川海老十郎)△愛妾お秀の方(市川澤之丞)△奧方お浦の方(市川淋之助)　▲午後六時半映寫

京城壽町一二　電話一〇三　壽館
◎十七、十八兩日午後六時より　△東京江馬旭子女師　▲東京原旭扇女師　雨中歡迎琵琶大會　主催　旭扇會
◎第二日目　△赤垣源藏(御田扇鳥)△村上喜劍(北條扇[illegible])△[illegible]島(水野扇鳥)△石[illegible]丸(水野扇鳥)△巴御前(王村扇[illegible])△護良親王(飯田扇[illegible])△大高源吾(石田旭[illegible])△佐竹若竹(田岡龍[illegible])△[illegible]△項羽(水浪龍)△[illegible]△的(坂井旭水)△伏見吹雪(江島旭房)△城の滿(東京旭扇)△[illegible]

天然色活動寫眞株式會社京城釜山一手代理店　電話二六三七　六五二　黃金館
◎六月十七日より新提供　△泰西滑稽拝振り先生　▲大冒險大活劇『ボーリン』第九第十篇四卷　▲世界的連續寫眞全十篇二十卷　[illegible]　▲新派悲劇『朧月』全五卷　▲舊劇[illegible]平布引　[illegible]

リウマチスに惱む人は

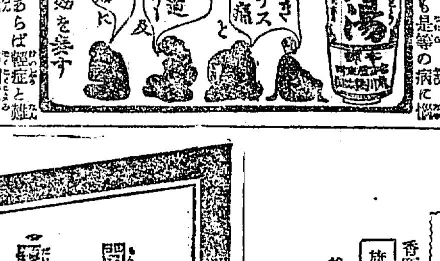
本舖　名古屋市東區京町二丁目　荒川長太郎　電話[illegible]　振替[illegible]

こんな徵候　胸、腹、手、足、腰、脊、つり、疼み、しびれ、又は移動し[illegible]

リウマチス神經痛　子宮病血の道　[illegible]　を試みよ

價　[illegible]

子宮病血の道と神藥湯



彼是迷ふ無く
最も能く効く良藥神藥湯を試よ現に百方手を盡しても効なき難症の血の道や、多年不治のヒステリー、や、年來難治の子宮病を始め固疾の疝氣リウマチス神經痛の方々が神藥湯の連服で漸次快方に赴き遂にはスツカリ快癒し嬉しさの餘り懇篤なる禮狀(一般の閱覽に供す)を送らるゝ實例も尠からず若不幸にも是等の病に惱む人あらば輕症と難症の論なく即刻試よ神藥湯は家方の良藥にして今や全國各藥店にあり

懸賞答案募集

問題
(一)左に圖出したる健胃固腸丸の五文字に振假名を付ける事
(二)健胃固腸丸の重なる効能は何なる乎
(三)此廣告を見たる新聞名

懸賞品
一等　銀側腕卷時計　一個づゝ　五人
二等　上等萬年筆　一本づゝ　三十人
三等　大阪名所案內寫眞　一枚づゝ　千人
此等級は正解者の內より新聞社員立會公平なる抽籤を以て定む

答案規定
▲以上一二三の答は郵便はがきに認め大阪市東區伏見町二丁目谷回春堂懸賞係り宛御郵送の事
但當選通知希望の方は往復はがきを用ひらるべし
▲解答期限は大正六年七月末日限り
▲當選は一二等に限り八月中新聞に掲載す

登錄商標
下痢病と腹痛を治す
健胃固腸丸
常に用ゆれば腸胃を丈夫にし惡疫に罹る憂なし
定價　十錢、二十錢、五十錢、一圓、三圓、五圓

本舖　大阪市東區伏見町二丁目　谷回春堂

光榮　(家門の譽れ)

辱なくも
李堈公家樣(義和宮殿下)より弊店發賣の旗印蔘精葡萄酒に對し左記の通り光榮なる御下命を奉拜候

拝啓
陳者貴店販賣ニ係ル蔘精葡萄酒試用致度候間半ダース鐵道便若ハ其他便宜ノ方法ニ依リ至急御送付相成度此段及注文候也
大正六年六月十二日
京城府寬勳洞
李堈公家事務所　印
ビワコ屋
田原寛二殿

香竄葡萄酒界新進の好評品
旗印　蔘精葡萄酒發賣元
釜山　ビワコ屋店主　田原寛二　謹白

勸業債券 貯蓄債券 賣買

[illegible]月々當選番號掲載
一通ヨリ勉強賣買値段表急送ス
大阪西區四貫島町　建部債券店
振替大阪二八〇八番
債券一覽表月賦販賣規定等御申越次第送呈

●連絡船十六日　六月十六日午前八時四十五分釜山入港新羅丸一等客[illegible]
二等客　一等(十名)英國人セー、[illegible]セシー、同夫人、
[illegible]岸川賢太郎、村松[illegible]、[illegible]、小川保、大森鶴子、近藤照治、村浦常吉、平野宗三郎、伊藤啓吉、土州山役太郎、飯島猪之助、紅葉川左一、黑瀨川龍五郎、山[illegible]、石橋米一、高橋喜之助、[illegible]かた、同[illegible]、同良子、本田むま、同
二等　五名　[illegible]旗田彪　二等(十二名[illegible])佐吉、吉岡ふ[illegible]
[illegible]發中なりしが漸やく全癒したるを以て兩人共十二日退院したり(釜山)
●[illegible]本氏自祝宴　京城學校組合議員

△[illegible]　同廿日　同廿一日
△物は付『可笑るものは』　同廿一日　同廿二日
△謎『喧嘩と掛けて』　同廿二日　同廿三日
△一口噺『其時々の事』六月廿三日　同廿四日
[illegible]應募者には五十錢書籍券を呈す(但[illegible]何番何號と明記に限る▲宛名は京城日報編輯局懸賞者文[illegible]

[illegible]京城測候所
六月十七日正午　京城氣溫八十七度三　前日中最高溫度[illegible]
[illegible]

(夕刊) 大正六年六月十八日(月曜日) 京城日報 (明治卅九年九月十日第三種郵便物認可) 第三千五百四十號

明君道中記

第百七十九席　田邊南龍口演

松平長七郎は宇平次宅兵衛を伴れまして駿府から東海道名代の宇都谷峠へ參りましたが、此の峠に團子茶屋といふのがあります其處へ入つて主従休息をして居りまする、處へ表から入つて參りました一人の男、木綿の衣類に小倉の帶、淺黄半股引に大和脚絆を著け草鞋穿き、小風呂敷を脊負つて脫つた笠を左の手に持ちながら入つて參り　男「ハイ今日は、何うか一服喫して下さい　主「是はお出なさいまし、サア此方へお掛けなすつて　男「相變ず此方も御繁昌で結構ですな　主「へエ有難うございますお影樣で繁昌をいたします」彼の男は向ふの床几に腰を掛け名物の團子を取つて茶なぞを喫んで居りましたが、此方を見て　男「へエ是は旦那樣御挨拶もいたしませんで恐入りますお上りでございますかお下りで居らつしやいますか　長「イヤ町人身共は是より京阪兩地を見物をいたすつもりでな　男「へエお上りで居らつしやいますか、道中をいたしますには餘り暑くても叶けず、と云つて寒い時も叶けません恰度只今頃が好い氣候でございます　長「如何さま左樣である　男「此の宇都ヶ谷の名物は十團子と申して串に刺さないで糸を貫いてございますが是だけが變つて居るので、昨夜の中山飴の餅、岡部川の阿部川餅、鞠子のとろゝ皆名物ではございますが、名物に旨い物無しと言つて旨い物はございません、イヤ然し此方の團子は格別で、私も是から上の方へ參る者でございますが、ならば御一緒にお供を願ひたいものでと云つた時に田村宇平次が　宇「イヤ〳〵町人我々は急ぎの旅ではなしそれに足も遲い方であるから一緒には參られぬ、汝に構はず先へ參れ　男「イヤ私も餘り足は早い方でありません然し御迷惑とございますればお先へ御免を蒙りませう　宇「オヽ然うしてくれ　男「左樣なら御悠然遊ばして此處で御免を蒙ります」と勘定もそこ〳〵に濟せて彼の町人は足早に出て行く、長七郎は　長「イヤ面白さうな奴だ　宇「旅へ出たら決して油斷は出來ません、火を見たら火事と思へ人を見たら泥棒と思へと云ふ例がございますが、殿のお顏を見て慣々しく話をしかける、あゝいふ者は油斷はなりません、其故先へ遣りましたのでございます」…宇平次が傍を見ると己れが預つた行李の包が見えませんから　宇「三宅氏、此處へ置いた包を御存知ないか　宅「イヤ知らん　宇「扨は彼の町人奴が此處へ置いた包を持つて參つたのであらう」兩人が探し廻る時に茶店の主は　主「旦那樣何か紛失でもいたしましたか　宇「此處に置いたる包が見えない　主「それでは今の奴が持つて行つたのでございませう、今の奴は年中此の街道を往つたり來たりして居る奴で、久しく顏は見ねませんでしたが又廻つて來たものと見えて私共の店へ入つて仕事をして行つたのでございませう　宇「亭主彼奴、旅商人だと申したがチョイ〳〵見掛ける男か　主「へエ能く見掛けます、商人の姿になつて來るかと思ふと侍に化たり又職人體になつたりして色々見ねます　宇「それは怪しい奴じや、遠くは行くまいから跡を追驅けて彼の包を取返さねばならぬ　宅「彼の包の中には紀州殿より賜はつたる三百兩の金子が入つて居る失つては大變向ひ追驅けやう」と兩人は急いで街道筋を彼の町人の跡を追驅けて參りまする、此方は彼の町人侍の包を提げた儘ドシ〳〵逃げて參りましたが、素より案内を知つたる事二三丁先から右手の脇道へ切れまして突當りの庚申堂の前へ來て其の包を其處へ置きホッと息を吐いて居りました

宮内省御用達
最上清酢
登錄商標 MARUKAN
品質良醸造高日本第一也
美味滋養に於て日本第一也
京城太平通二丁目
日本醤油株式會社京城出張所
電話二四五番

六月十九日
舊五月一日壬辰
本命八白 [illegible] 大安

▲八白 力づくにゆかぬ事有り新事見合方は吉 [illegible] ▲九紫 好消息有る日 轉居 行 商人 [illegible] 婚禮 萬 ▲一白 泡の如 [illegible] ▲二黑 徒勞に終る事有る日 新事手控 [illegible] ▲三碧 女子は騙かれぬよう用心の事 [illegible] ▲四綠 眼の届かぬ事有る日 新事手控 約束に用心の事 ▲五黃 [illegible] 新事手控 [illegible] 婦人のせわを請す勿れ ▲六白 首尾よき日 轉居 旅行 [illegible] 婚禮 輸送 薬等萬吉 ▲七赤 命運の日 [illegible] 金融を計る等不吉

りん病
有炎症の性急は勿論慢性症にして尿道誘導し斷絶の疾病
齒力を有す急性は勿論慢性症に服藥にして尿道及淋絲を治す目的の内服藥にして淋疾組織のシワの中に深く食ひ込んだる一菌に對し驚く可き作用を急性一圓廿錢慢性用一劑三圓効力を選す疑人は見本を請求せらるべし無料送呈す
藥劑士 淺田藥局
大阪市南區櫻川四丁目
振替大阪三壹二四九番

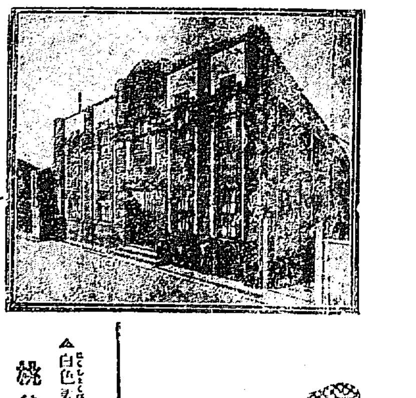
初夏より……眞夏へかけての
薄化粧には
白色美顔水

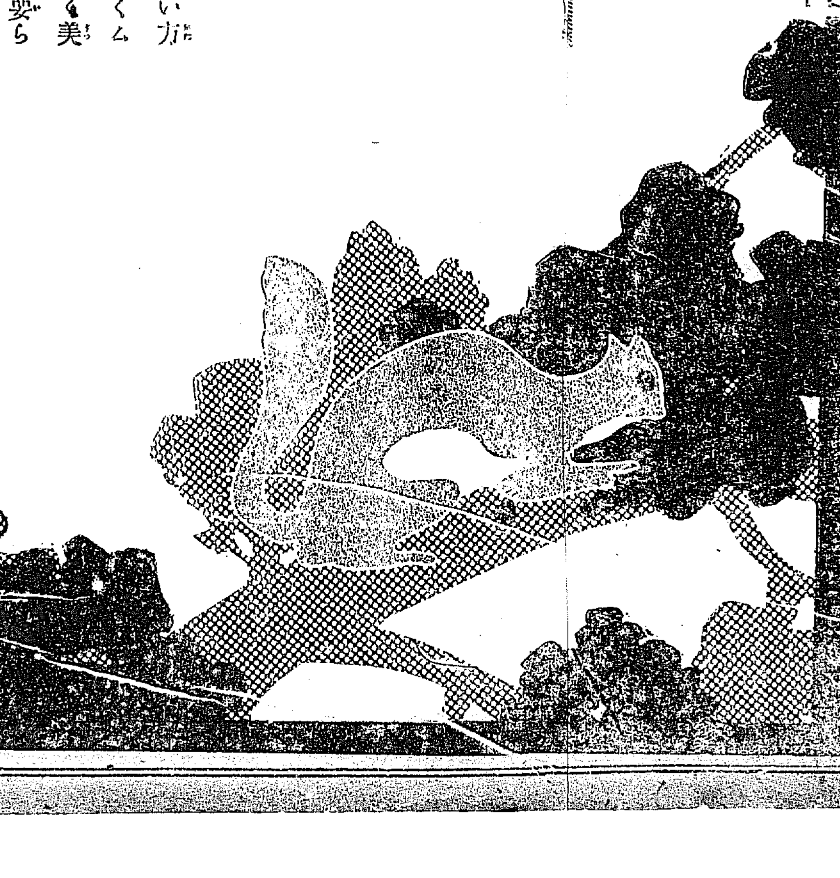
▲斯うもお化粧は樂しいものかと——
白色美顔水
お用ひの方は
仰せられます!!

どなたがお用ひになつても——

例へば平生白粉の附きの悪い方やキメの荒い方などがお使ひになりましても、誠に氣持よくムラが無く附いて、如何にも品のよい、氣高く美しいお化粧が出來、それが又何の骨折も要らず、面白い程すら〳〵と愉快に出來ますからです。これは白色美顔水は、普通の水と白粉とを混ぜて製へた樣なものとは、元來の成分と製法とが全然違つてゐるからであります。

▣美顔白粉共々引續き各宮家の御用を拜しつゝある此の學者の苦心の製品は、今や評判彌々高く、殊に段々暑さに向つてサツパりした皮膚の感じの喜ばれる今の時節から上中流御家庭に無くてはならぬお化粧料となつて居ります。確に恁麼にお化粧を樂しくさせるものはありません。





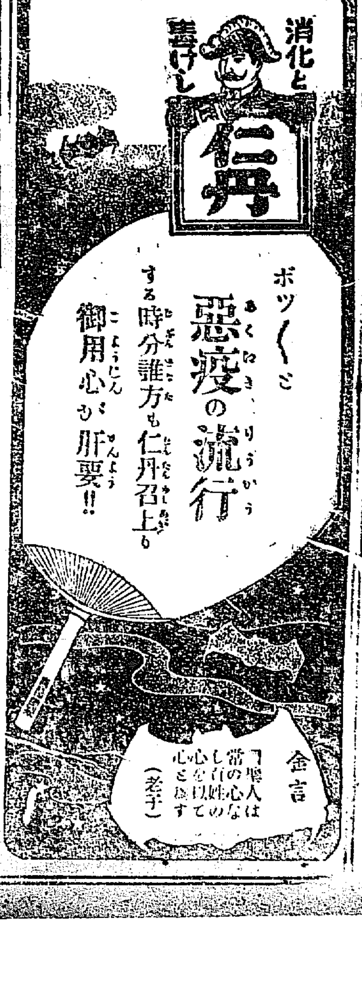
▲白色美顔水を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
仝 醫學士 米倉昌達
仝 千葉藥學士 小磯勝次郎
仝 仝藥學士 齋藤銑助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本淳二氏

袖珍
宇佐美内務部長閣下題字
小原農商工部長官閣下序文
京城日報社編纂
府及學校組合法規提要
▲定價金壹圓廿錢 送料本社負擔

內容
朝鮮府制、府制施行規則、府令、訓令、通牒等苟も府制及學校組合に關係ある法規は細大之を網羅して漏さず就中卷末に添附したる例規の如きは最近七月に發せらるものまでも收めたるを以て府及學校組合は固より內地人、各學校教員、組合會議員其他關係者に取りては座右必備の良參考書たるは言を俟たざる所也

裝幀
携帶に便ならしめんため製本を袖珍とし紙數は三百餘頁總てクロース天金とし文字入りの頗る美本なるに加へ殊に改正法規「其他必要事項の記入に便せしが爲め毎頁上部約一寸五分の白紙を餘白とし更に卷末に之が如き白紙を綴込みて備忘欄に供したるが以て本書の一端を窺ふに足る

大賣捌元 京城太平通二丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部



第三版

京城日報

六月十八日（夕刊と合せて八頁）

本紙定價　一部金二錢五厘　一ケ月金五十五錢（前金）[illegible]
廣告料　[illegible]
發行兼編輯人　奥田直[illegible]　印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社
電話　[illegible]

支那商工業の變遷（四）

渭天彰

三、宋代の商業（其二）

宋初は、五代に於ける商業の不振狀況を察して商人を優待し、悉く稅制に整理を加へた。現行稅の整理については、太祖の時に稅則既に定まらば、擅に改むるなく、既に定まりたる租稅は、增稅を得るなく、また新に徵收を得るなしと定め、稅則を稅務署に揭示した。これより州縣に於ける零碎の商稅も新に徵收が出來ぬやうになつた。また此の際漁稅其の他の雜稅が悉く除かれた。（一）漁稅、五代割據の時に當つて、淮、江、浙、荊湖、廣南、福建等の魚類利息の地方にあつては、漁業に從事する人に悉く稅錢を納めさせたが、太祖はその弊を聞いて取除けた（二）雜稅、割據諸國の雜稅に、橘園、水碓、社酒、蓮藕、鵝鴨、螺蚌等の諸目があつたが、太宗の前後にみな取除けた。また太宗は小商人の小さな買賣には稅を取らず——兩浙諸州の紙扇、芒鞋等の小さな商賈に稅を取らぬ——民間に織る綢帛にして市に賣らぬのは稅を取らなかつた。かく商人を優待したので、商人も多少生活の度を高めた上、天下統一して諸處に交通遮斷の場所がなくなり、商人の商賈する上は非常な便利となつて、商業範圍が擴張せられたが、我何もなくして神宗が祖宗以來の法を變じたので、商人がまた苦しんだ。

神宗、王安石を擢して祖宗以來の法を變じた。王安石專ら富國策を講じ、魏繼宗の建議を採用して、市易法を行つた。その法は、賣るべき貨物及び民間に滯つて賣れぬ貨物は、それぞれ價格を調節して買ひ上げ、民の貨物を官の貨物と交易すると願ふものには、許可を與へ、凡ての貨物を龍斷した。また民の官物を買はうとするものは、官はその抵當物（田宅或は金銀、抵當なきものは三人組合ふ）によつて、錢を借して利息を取り、期限半箇年、利息十分の一とした。が、一箇年となるときは利息を一倍となし、期限が過ぎても返さぬものには、利息の外別に罰金を取つた。市易について呂嘉問を提擧（總督）とし、諸州の市易司は、みな隷屬した。官錢を下賜して之を行ふこと久しからずして、種々の弊害が續出した。賤いには市ひ、貴いには賣るので、これが弊害の一つ。商人が商品を持つて某州に入ると、先づ州の市易司に行くのが法であるが、商人は多く他の道より經過するので、商稅が減する。これが一つ。某郡の商品を抑ねて他郡へ行かしめぬので、抑へるにつき種々の難がある、これが一つ。他郡の商品が來ぬので、物價が高まる、これが一つ。官物を買ふものは利息を深山負ふ、これが一つ。官また私に民から利息を取る、これが一つ。錢を借りて抵當を出すものは輾轉して産を破る、これも一つ。貧人及び無賴の子弟の抵當物なくして借りたものは、積る利息をば拂ふことが出來ず、また之を罰する[illegible]も、たゞ名目上の利息のみであつて、商賈は少しも得られぬ、これも一つであつたが、王安石は堅く執つて動かなかつた。故に宋の商業は、南渡以前に早く已に衰頽の時期に入つた。

隣邦を奈何……對支國策を確立せよ

中島生

米力西漸（五）

歐洲戰爭後、他列國中支那に於て最も活躍する國は米國ならむと謂ひ得る。

米國は既に孤立的外交の衣を脱いで、色彩の強い世界政策の衣を纏つて居る。ワシントンが『我が米國の外交は、商權の擴張を主眼とし、政治的關係より遠ざかるを以て賢明なりとす』と宣言したる外交政策は、遂に米國永遠の國是ではなかつた。米國の不和主義、對外不干涉主義は、千八百九十八年に於て俄かに面目を革めた。馬尼拉灣頭の殷々たる砲聲は、米國の帝國主義を世界の表に宣言する號音であつた。比律賓島に西班牙の國旗が撤去せられ、星條旗が之に代るの時は、米國が世界並に列國たらんことを思ふの時であつた。彼れは自國をして眞に強からしめむが爲めには他土侵略も亦已むを得ざるを觀念しつゝあつたのである。領土の廣大にして、移住民より成り立つた米國でさへ、尚ほも外に向つて發展するの必要を感じたのである。試みに近時米國に於ける陸力政策、將た殖民政策なるものを鑒るに、之を大觀して二派の思潮を認め得る。第一は陸力東漸主義とも言ふべく、彼の『力の福音』の代表的宣傳者たるルーズベルト氏を中心として唱へられ、即ち其要領は、米國の人口も年々增殖して製造工業は日に月に盛大となり、從つて自國の生産物は主として自國内の消費に供せられねばならぬ。農産物の輸出よりも製品の輸出を切要とするに從つて、市場の開拓が急務である。米國は如何にして國力を伸暢せしむべきか。太平洋を支配し、更に洋を越えて東洋に向つて進まねばならぬと云ふのである。第二はルート氏を中心とせる一派の論で、國力南進主義とも謂ふべく、其要旨に曰く。米國の進むべき道は正に南方であらねばならぬ。米國にとりては、南に向ふよりは、南に向つて進むを最も有利なりとす。米國の企業的雄飛の大舞臺は南亞米利加である」と云ふのである。此の二個の意見は、一は西を指し、一は南を指すのであるが、今日の米國は二つ倶に之を採つて以つて方針として居る。後者は廣義且積極的のモンロー主義とも見るを得べく、前者は帝國主義である。ジンゴイズムである。世界政策である。然かも米國は今や南米をも自分から處理せんとし、東洋にも力を扶植せんと努めて居るのである。

露西亞は、歐洲の本土より極東の沿海州まで、五六千哩の大陸に鐵道を布いて居る。米國は太平洋岸より比律賓まで、五六千哩の長い海上を、鐵軌を以てする代りに、鐵鎖の軍艦乃至は汽船を以て繫び付けたいかも知れぬ。何でも極端に大袈裟を好む米人は、若し出來得るならば、鐵の艦艇を、ズラリと太平洋上に繫ぎ合せて、其上に軌條でも布いて汽車を通したいかも知れぬ。米人は氣質として其位の突飛な事は普通であるかも知れぬ。現に今、太平洋上の航路に於て日本が最も優勢の地位を占め、定期航路のみでも郵船、商船、東洋汽船の三社があり、英國は加奈陀太平洋汽船を以て依然定期を開いて居るのに、自國の太平洋郵船は歐洲開戰以來東洋航路より撤退して居る現狀を不滿に思つて居るのは事實である。彼れは太平洋の宰領として、必ず近い將來に優秀なる汽船航路を開くに相違ないと思はれる。然かも彼れは益々金力外交の歩を支那に向つて露骨に進めて居る。最近に於ける支那の時局に對して、如何に米國が處して居るかを見よ。『世界政策』『殖民行政』『殖民地政府』等の著を以て有名なる現駐支米國公使ラインシ博士が目下北京に於て、如何に暗中飛躍を試みつゝあるかを見よ。而して近著の夕電によれば、米國は支那の時局に關し、聯合國政府に通牒を發して、聯合國協同の宣言書を發せんことを提案したりと云ふではないか。之をして眞ならしめば、米國は進んで日本の執るべき行動を、自から敢てするものである。外交の微は吾人の窺ひ知る所に非ざるも、此の提議が事實として、日本も之に贊成するとせば、米國が主動的で日本が米國の尻に蹤ひて行くやうな事になりはせぬか。然らば日本の立場はどうなるか。敢て疑ふのである。

白山黑水行

滿鐵　上島生

▲國境五信（[illegible]にて）

[illegible]汽車は八時出神を發し申候、[illegible]現に只今工事中にかゝり、清津蒼坪間のみ開通致し居候は、本年末の豫定に候へども、それも如何やらんと氣遣はれ居申候。[illegible]津を發して汽車は多く山岳起伏の間を縫ふて會寧川に沿ひて進行仕候、沿岸の山は大木は稀に候へども、新綠の色鮮かに生ひ茂り、沿道の風物も南鮮地方とは趣を異にし、沿道點在する家屋の構造も、瓦屋根のいと堅固の作り多く、之を南方の藁葺に比すれば一段の繁榮ね有り、其他土の黒き山の耕されたる、何れも地方狀勢の變化を思はしむるもの有之候。[illegible]

十時四十分一行は三ッの臺車を列べて愈々蒼坪を出發仕候。蒼坪を出づれば臺車は間も無く茂山嶺の險にさしかゝり申候。上り坂なれば一臺に付き三人の後押にて臺車は時に遲々牛歩の如く進行仕候、軌道甚しく不完全なると車軸にスプリング無き爲、車の動搖甚しく、急勾配の所などにては、やゝもすれば車の上より彈ね飛ばされさうな氣配に御座候。單線の事なれば往々より進行し來る臺車と時々行違ひ申候。此の如き場合は臺車數又は荷物の少き方臺車を軌道の外に引はづし、一方を通らしめ然る後臺車を軌道にはめて再び進行を續け申候。崎嶇たる茂山の山道を上りては下り、下りては上り、或は大迂回し或は直行し、[illegible]車を進め申候。[illegible]約一時間を休息致し、再び臺車を發して三時半頃古豊山に到著[illegible]五時十分無事會寧に到著仕り、[illegible]直に會寧[illegible]二郎氏を訪ひ、[illegible]夜は當地間島貿易商議[illegible]二郎氏を訪ひ、間島貿易の現況を承り申候。明日は愈馬を走らして間島に入るべく候（二十八日會寧にて）

日報詩壇

朝鮮風俗雜吟　大久保聴香

[illegible]

公告

京城地方法院

左ノ不動産ヲ左ノ日時ニ競賣ニ附ス　入札保證金ハ申出額ノ十分ノ一トス

[illegible]

朝鮮總督府
一、ボールド四千本[illegible]
右買入ニ付詳細ハ六月十八日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ

購買　一、書類箱　外壹點　[illegible]　臨時土地調査局

外交部長　[illegible]　大日本外交協會

代書大博士　第二十六版發行　特價[illegible]

特典　[illegible]

M印　品質本位

商業登記公告　京城地方法院
[illegible]

主婦之友夏季特別號
家事經濟號
成功した貯金の實驗
改良した中流の家計
上品で收入多き内職
東京家政研究會

文學博士南條文雄先生新著
進むべき道
大阪屋號書店

新譯韓非子
新譯碧巖錄
野中元三郎先生新著
蜂谷柳莊先生譯註

支那の真相
前清國皇族肅親王題辭　法學士大河平隆光先生新著

滿洲發達史
內藤湖南先生序　稻葉君山先生著

北京官話　支那語教本
本田清人先生著

發賣　大阪屋號書店　同店　大連・旅順・鐵嶺・釜山

[illegible]果著しく價格が騰貴し、猫の[illegible]
▲[illegible]猫の毛皮は、市場に重要な地位を占めて[illegible]用の[illegible]裏地や自[illegible]用の[illegible]
[illegible]米國の毛皮[illegible]有者の誇りになつてゐる貂の皮の[illegible]ベラ外[illegible]といふのも、大抵は猫の毛皮であることが多い
[illegible]は滅多に猫の毛皮だといつて賣ることはない、貂や其他の珍らしい動物の皮に模造しない場合には、鼬猫[illegible]
[illegible]らしくない ▲現に[illegible]市内に棲息する猫の數は少くも百[illegible]萬匹で、其死亡數は子[illegible]
[illegible]い飼猫の方が痩こけたさら〳〵した野生の猫に比して高い市價を持つてゐると信ぜられてゐるが、一方には
[illegible]らば利益が擧るだらうといふことは誰も考へる所で、數年[illegible]盛頃の[illegible]或る會社[illegible]ホトヤク河口の二[illegible]
[illegible]大人と子供を一人宛傭うて番人とし、短艇と引綱を備へ、猫の食物には其の引綱で附近の海から捕へた魚類をあてゝ、つもりで準備することにしうである
[illegible]にまれば、實際に[illegible]案外多くの[illegible]を要し、管理が面倒なので、猫の飼育所を設けても收支相償ふことは可成り困難だといふことに歸著したさうである

支那の形勢

▲張勳、李經義内閣推薦 反對せば復辟を主張せん

張勳氏は十五日朝單獨にて黎總統に謁し國會解散は督軍の意思のみ余は只暴烈分子を惡めるものにて立法機關は之を尊重する者なりと辯明し更に李經義内閣組織に關する事並に二三の條件を述べて採用を求めたり尚ほ張勳氏は十五日某日本人に語りて曰く、時局收拾の唯一策は先づ第一に獨立督軍の獨立を取消さしめ撤兵せしめたる後李經義内閣を組織するにあり之に就て南方反對せば余は復辟を主張する決心なりと(北京特電)

▲李内閣贊成と反對

北京來電に依れば張勳氏は十六日電話にて天津の倪嗣冲氏に向ひ李内閣組織に關し助力を求めたり、されど督軍の多數は何れも李内閣反對にて倪嗣冲、張作霖、曹錕三氏の如きは段内閣の再現を畫策しつゝあり李内閣の成立は容易ならず(北京特電)

▲徐世昌氏閑臥說

天津來電に依れば徐世昌氏は目下の時局に望を絶ち最早や調停等に干與するを好まず暫く河南の別莊に隱遁閑臥すべしと傳へらる(上海特電)

▲張勳宣統前帝に謁見

張勳氏は十六日午前辮髮を垂れ舊清朝の禮服にて宣統前帝に謁見し優待を受けたり(北京特電)

▲馮麟閣氏入京す

馮麟閣氏は十六日朝灤州を發し夜に入りて入京せり(北京特電)

◎米債應募額廿五億弗

華盛頓來電に據れば米國自由公債應募額は二十五億弗に達せり(東京特電)

◎英軍西部戰線鹵獲數

マックファソン氏は英國下院に於て陳述して曰く昨年七月以來我軍は西部戰線に於て四百三十四門の大砲を鹵獲し約六百平方里の土地を奪回せりと(倫敦電報)

●臺灣土人叙勳 許廷光

臺灣臺南の新市許廷光は明治二十七八年戰役の結果臺灣の我が領土に歸するや爾來我が國の爲めに好意を表し終始一貫渝らず功勞少なからざるを以て安東總督より寺内首相を經て功績表彰方稟請中の處十七日臺灣始政記念日に際し左の通り叙勳ありたり(東京特電)

叙勳六等授單光旭日章 許廷光

◎秋山大將著木

南鮮地方巡閲中なる秋山軍司令官は十七日午後光州より木浦に到着多數官民の出迎へあり一行は旅館三吉野に入り一泊の上翌十八日朝出發赴任の豫定なり(木浦特電)

●紡機輸入緩和

英國の紡績機械製造會社は軍需品製造に忙殺せられ合同紡績の如きは本年既に一萬錘の入荷……其他東……紡、攝津等を合……たるが既に……困難なる事情もあれど英米兩紡績機の輸入は緩和されたるは注目に値す

吉林地方の養蜂

▲吉林を中心として其の一帶地方に産する蜂蜜は自然産と飼養に係るものとの二種あり、自然産のものは山林中老木の空洞等に蜜蜂の巢を採し置き白露即ち九月初旬の頃に至り蜂蜜を採取するものなるが此種の産額は極めて少し、同地方に於ける蜜蜂飼養法は内地のそれとは大に趣を異にし毎年初春の交長さ二尺餘の木苗を作り其の下部を地上に立て上部に蓋を爲し其の中間に蜂の出入す可き小口を穿ち又蜂をして出入の際認識に易からしむる爲其の木苗の一端に赤布片を附著して之を房屋の縁端又は山の樹間に立て

▲野蜂の來住 に任す、蜜蜂は初春より初秋に至る間盛んに花間に蜜を採り九月中旬降霜の候に至りて止む此の時に當り木苗を逆にして其の蓋をとり巢窩の三分一乃至二分一を割取し其の殘部を翌年養蜂の爲保存す、斯くて一窩に藏する所の蜂蜜及び蜂蠟は十五斤乃至二十五斤に達し之より採取し得る蜂蜜及び蜂蠟は七斤乃至十五六斤なり、此蜜蜂の飼養は主として農家の副業に屬し松花江上流河南一帶の地方に在りては一家毎に十二個乃至二十餘個の巢窩を有し其の産額亦僅少ならざるなり吉林市場に集散する蜂蜜は

▲松花江上流 の諸縣に産するものにして殊に吉林縣の額赤穆及び大三河子、樺甸縣の横道河子、常山屯は蜜蜂の飼育地として最も著名なり、此等の地方より出づる蜂蜜の産額に就きては確なる統計無きも吉林山貨店の取扱蜂蜜額は大正四年には四萬二千斤、大正五年には三萬斤なりしといふ、而して五年は四年に比し産額減少せるに拘はらず需要增加せしため價格頗る高價を告げつゝあり、即ち四年には蜂蜜一斤邦貨一圓十錢なりしも五年には一圓二十錢を唱へ蜜蠟は六圓なりしもの七圓七十錢内外に至れり、而して各産地の蜜蜂及び蜜蠟中其の一部は山貨店の手を經て吉林地方各藥店の手に移り、此處に精製せらる

▲丸藥及膏藥 の配合劑として用ひらるゝものにして其の大部分は奉天、營口に移出せらる、其の移出額は大正四年三萬五千斤、大正五年二萬斤なり、吉林地方に於ける蜂蜜の採取は其の方法前述の如く自然蜂を利用せるものにて頗る簡便なるも農家に於て飼育方法に改良を加ふることなく且つ年々伐木に何等制限なきのみならず植林に意を用ゆることなきを以て自然に蜜植物の減退を來し蜂蜜産額の減少を來す傾ありされど吉林地方殊に松花江上流の山岳地は各種樹木の繁殖に適し養蜂に頗る好望なる地なりといへば蜜蜂の飼育其の他に就き漸次改良を加ふるならば將來農家好個の副業たるを得べしといふ

◎大連港の滯貨

大連港の滯貨は今年一二月の交最高時には三十八萬餘噸に達し滿鐵埠頭事務所に於ては五十萬噸收容の設備をなし居たるが遂に四十萬噸の聲を聞かずして爾來漸次遞減し特に四月以來大豆及び豆粕の輸出頗る旺盛を極め最近に於ては二十三萬六千噸に減少し最高時に比すれば約二分の一に減少したり而も其の中大豆及び豆粕等の特産のみを比較する時は其の減少の度合一層甚だしく大豆は最高時の十六萬噸より現時五萬二千噸即ち三分の一に減じ豆粕は最高時十六萬餘噸より現時の三萬六千噸即ち四分の一に減少せり是れ需に近時内地の米價騰貴し豆粕の需要旺盛を極むると豆油の米國輸出依然好調なるに據るものにして大豆も亦南支其他への輸出多く流石に昨年來の大豐作の尻を受けたることゝて今尚ほ相當に餘裕あれども或は本年端境迄には物資缺乏を訴ふるやも知れずと杞憂せられつゝあり

◎實業教育機關

實業教育は普通教育と相俟ちて當局の最も力を致す處にして地方勸業機關との連絡を持し産業開發上に裨益すること尠からず今其の施設狀況を見るに公立農業學校十五校、公立商業學校二校、公立商工學校一校、公立簡易實業學校七十一校を算し、特に全州公立農業學校に於ては講習生、大邱公立農業學校に於ては別科生として内地人子弟をも容し前者は朝鮮人生徒と共學せしめ後者は別學級に收容教育しつゝあり、鎭南浦は西鮮第一の港にして最も商業の中心地たるが故に夙に簡易學校の設ありしも同地在住中村精七郎氏資金を提供して同地に商工學校設置を懇請せるより當局に於てもこれを諒し大正五年四月鎭南浦公立商業學校の新設を見るに至れり但し其の工業部は諸般準備の都合上同年九月を以て授業を開始したり、又た私立實業學校は京城に財團法人私立善隣商業學校の一校あり基礎鞏固にして其の程度は公立商業學校に同じく年々多數の卒業生を出し成績頗る顯著なるものあり而して大正五年度に於て實業學校に對する國庫補助額は九千五百圓内同校に對し四千圓を補助せりと

◎扶殖園植林 手塚

全南珍島に於ける朝鮮實林業扶殖園の事業は昨年李完用伯の實地踏査の結果大規模に著手する事となり既に許可の五千町歩に對し更に六千町歩餘を追願中なりしに此の程貸附の許可を得たるやにて同組合は從來の資本金十萬圓を二十萬圓に增資し愈々今秋期より著手すべしと

◎江水增加と舟航

打續く旱天の爲め哈爾賓附近は河水低落して船舶の航行不可能となり航運業者等は何れも休業の狀態なりしが十二日大雨沛然として臻り江水著しく增加して自由に航行し得るに至りたれば、同埠碇泊中の各汽船は俄に修繕に著手し出航準備を急ぎ居れり(哈爾賓)

◎トロール船制限

トロール船所有者は漁業に就役せしむるよりも運送船に改造し又は轉賣するの有利なるため外國に賣却するもの頻出し五月末現在に於ては六十隻餘となり其後改船又は轉業するもの廿五隻に及び目下實際漁業に從事するものは三十隻に過ぎず從つて漁業者は現在非常なる利益を得つゝあるも戰後船價下落に伴ひ同業に復歸するもの續々漸次增加し魚價は再び下落し我國從來の舊式地曳網漁業者に大打擊を及ぼすに至るべければ今より特に此點に注意し當分トロール船數を七十隻に制限する當局の意向なりと

◎改良養蜂注意

近來改良養蜂の利益を見込み鮮内各地に於て發起組合或は會社と稱して誇大の利益を吹聽し改良蜂分養を農民其他に勸告するもの京畿道管内にも間々有る由なるが之れに對し當局の一般に對し注意する所によれば改良養蜂の件に關しては己に當局にても銳意試驗中に屬し居れるが近來試驗の結果は著るしく良好ならず朝鮮の風土氣候其他の關係上殊に冬期寒威の豫防と糧食供給の加減は最も困難とする所にして越冬困難、凍死若くは餓死を免れず悉く失敗に歸せり而已ならず内地養蜂業者の如き五六十箱を攜帶して渡鮮し寒氣の爲め越冬し得ず悉く凍死せしむる等の結果を示せるあり朝鮮現在の在來蜂すら越冬には多大の注意を要するあるに唯採蜜上の便宜のみより打算し養蜂上の施設越冬の方法等研究精査の結果安全を確認せざる今日徒らに改良蜂の分養を爲さんとするは早急の嫌ひありと

□李王殿下を迎へ奉る 大塊

御著と仰ぐ間に晴る五月空

歡迎の群から聲や雷の如

旗ひらく滿都の熱や暑に加ふ

參への蹄の香や夏の塵

馬場先の夏の路傍や人の垣

◎野獸と農作被害

咸北道は到る處に岳巒重疊し野獸の棲息多く山間地方に於ては野獸の爲め農作物の被害少なからず大正五年中に於ける各郡被害見込高は新穀四千四百四十石此價額約三十一萬六千圓其被害高一萬九千圓に達せるが害獸の種類は猪、熊、鹿を主とし特に山猪の被害最も猛烈にして時に數十頭群を爲して横行し其過ぐる所收穫なきに至るが如き慘狀を呈する所ありと尚ほ被害多き茂山郡にして同地方は虎、豹、狼等の爲め家畜類の被害も年々少なからず(清津)

◎檢印押捺と注意

既報の通り府稅課にては去月二十八日より荷車「人力車、荷積牛馬車」等に對し各町別に日割を設けて一般脫稅者無からしめん事を期し夫々檢印を押捺する事とし既に其の過半檢査を了せるが聞く所に由れば本月十五日迄に檢印を受けしもの荷車一千六百十六(京城)四百四十六(龍山)計二千五十六荷馬車九十六(京城)二百二十八(龍山)計三百二十四人力車六百八十六(京城)三十六(龍山)計七百二十二にして未だ檢印の押捺を受けざるもの荷車約一千四百俥約七百の見込なれども之等に對し府當局は新たに通知を發送せずと因に檢印なき車に對しては夫々科料に處すべき規程あれば檢印押捺を受けざる向は此際至急府廳に出頭檢印を受くべしと

◎光州水道起工近し

全南光州の水道は既に諸種の準備完成し只工事を起すのみとなれるが之に先立ち水源地敷地買收の必要あり既に先般來地主と交渉の結果水源地一萬三千餘坪及び山林五十町歩の買收を終りたれば愈々來廿三四日頃を卜し起工式を擧行する豫定なりと(光州)

◎南言北語

問題であつた支那議會も歩軍統領から一躍臨時總理代理になつた江朝宗君から何の苦もなく解散されたが▲洋派相手に議會に樹て籠つて憲政の爲め血戰すべしと威張つて居た民黨議員連は解散と同時に何にかやるのだらうと待て居ると殆ど音沙汰なし▲神鳴りが落ちたら俺が捉へてやらうイヤ我輩が生捕るとデコ坊連が氣張つて居る頭の上にガランピシャンと來た形だ▲其れも其の筈で解散迄には隨分曲折もあり敵も味方も聊か持ちあぐんだ觀があつた▲十一日夜に王士珍君が最後の議員招待會をやつて▲國家の爲各自辭表を出して貰ひたいと懇談的解散の形式にして貰ひたいと懇談したが▲すると年少氣銳の先生方は却々承知する處ではない躍氣になつて王君を罵倒した▲王君も怫然として「然らば諸君は京津警備司令官の職權を以て莅むが可いか」とやると議員も縮み上つた▲王君は瘦せて丈の低い上に大きな聲も出ない鳥渡怒つた顏を見たことがないと云ふ人だ▲此の先生が「果して然らば吾輩は」と立腹したので議員連中も氣味が惡くなつたらしい▲之れだから解散になつた今日迄も議員連はおとなしいと某支那通の談▲十七萬二千圓で當選した憲政會の子元三郎君▲選反事件で拘引されたので此の大枚な金子も何だか棒に振つた事になり相な▲流石は大金を投じても同情者が多いとの事▲而して君は蒲柳の質だから長くやられたら耐るまいとは氣の毒▲然るに更にみじめなのは小樽の三百名の一寸來いだ▲漁業で持つ小樽は全く火の消えた樣で大停電全市暗黑である▲此のドサクサ紛れに付け込んで利を占めやうと四方から入り込む者が非常なので小樽市民は二重損を仕てる相な▲之れが本當の漁夫の利と云ふ奴だらう

……產物に富むを以て何多少の餘裕あるのみならず野草を摘み新芽を採り海の貝類を拾ひ食料に供するを得るの外銀等に依り生活を得る者少なく唯山に草根を取り又野に雜草を摘て食料と爲す……各地を流浪する者稍や增加せん……見るに至ると同時に細民の生活も漸次復活するに至るべく府當局にて……

◎回轉機破壞

……注意怠りなしと……

◎福岡炭坑の風害 死傷者を出す

京日案内

普通 一回前金五十錢 番外 一回前金(送名一圓)
▲申込後中途廣告中止の節は前金返戻せず
▲六回以上の御申込は特に割引
▲御照會の節は返信附にあらざれば回答せず
▲御照會の節は必ず數字の番號御記入を乞ふ

普通

安全第一の古本と古樂器賣買店 京成本町二ノ一 ウツボヤ書籍店 124
看護婦募集(資格者及見習)希望者は履歷書携帶來談あれ 京城明治町一ノ三 須古醫院 161
うみたての地玉子販賣御報時節柄御進物用見舞品に適す 京城旭町二の三四 田上養鷄場 160
女集金人及び配達人至急募集希望者は本人來談あれ但し市内に確實の保證人を要す 明治町旧田新聞... 153
貸本格安讀み放題一冊分誌差支なし 大和町市大山通電話一二七二番 藤原文華堂 145
貸家 黃金町一丁目三井物産近日本建物二階家四數五、湯殿水道電燈附 蓬萊町中村電話一九七七番 142

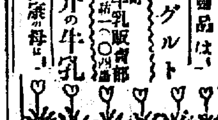
番外

移轉 今般事務擴張の爲移轉致候 太靈道靈子療院 治療及び傳授に從事仕候 京城支部 櫻井町一丁目卅七鈴木 156
醫師代診 看護婦並に見習人用 希望者は履歷書携帶引致あれ 姓名在京城日報仁川支局 155
恩給年金立替 短期無保險 京城若草町一〇(金光教裏手) 即時取引 電話二三九一番 國江商會 1.0
恩給年金 五ケ年分秘密低利貸 共金 取扱希望方は特約す 名古屋市西區江中町二丁目 渡邊化粧品雜貨店

最新刊

書名 著者 定價
論語鈔 德富猪一郎 五、〇〇
文部參考 教育大意 内外教育評論 一、三五
ジェームス自我と意識 福來友吉 譯 一、八〇
現代の藝術 故 田敏 一、三〇
波上の日本 佐藤鐵太郎 一、〇〇
軍談 秋山眞之 一、〇〇
村の創業 都築省三 九〇
進むべき道 南條文雄著 定價 一、三〇
復活 相馬御風 相馬泰三 一、八〇
新鬪哲學 井上圓了 一、二〇
江戶紫 紛紅駭綠 堀内新泉 九〇
柳暗花明 田山花袋 一、〇〇
本邦一藝 中村左衛門 一、三〇
支那大觀と細觀 久米邦武 永井柳太郎 一、三〇
夜の女の幕 久留島武彥 一、三八
投入盛花圖説 近藤正一 一、二〇
鷄林文壇 創刊號 一五

大阪屋號書店



長壽の品は「ヨーグルト」
京城若草町 荒井牛乳販賣部 電話一一〇四番
「荒井の牛乳」 滋養・健康の母よ

朝鮮銀行

常銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候

京城

電話 振替貯金口座 京城三三三番
支店 東京、大阪、神戶、平壤、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、奉天、大連、長春、開原、四平街、吉林、哈爾賓、營口、傅家甸、龍井村
出張所
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

新消化劑現る

蛋白澱粉 消化劑 プロテアーゼ

本品は帝國大學農科大學三宅理學博士の發見に係る一種のエンチーム(酵素)にして强力なる蛋白質の消化力を有し澱粉に對しても消化力諸種のヂアスターゼに優り尚脂肪分解作用を兼有す

適應症
□胃腸の消化不良、食慾減退せる諸症□
□胃腸病並に重病後の快復不期、營養不良□
□營養增進の目的に肺結核、肋膜、氣管支等に□
□腦神經、衰弱症及産前産後の衰弱□
□胃腸内の醗酵を抑制するが故に腸加答兒□
□百日咳、疫痢、腸チブス等に効あり□

定價 粉末 二五瓦一圓四十錢 一〇瓦六十五錢 錠劑 百錠九十錢 卅錠三十錢

東京京橋南傳馬町 星製藥株式會社 電話京橋一七八五 振替東京一〇五二二

魚釣具及投網卸賣

小吉備商會 京城永樂町二丁目 電話三一四番 振替京城四三二八番
御中越し次第定價表進呈 遊船御案内

眼科專門

京城本町四丁目カル、ス温泉横(電一五五六) 金井眼科醫院 金井豐七
日曜祭日午時中

◎驚倒す一大快書出づ◎

傳説 えんぎ、まじない 夢はんだんとけんとく

サインスオブアーツドクトル 太卜館長 栗根竹齋先生 新著 稻葉圓次先生 序文

四六判三百七十頁 特製上質紙 天金美裝函入 定價金一圓卅錢 送料金八錢

内容 ●本論●まじない●縁起…… ●本著は古來東西洋にて傳説せる人間日常行事たるえんぎ、まじない等の學理的説明と人間の夢に關する神秘的感應上の判斷を施したるもの也 ……

發行所 東京市神田區錦町一丁目 慶文堂書店 振替東京二八五三三 電話本局四七九二

簿記專修學校 學生募集

大正六年新設記念優待募集 東京市芝區櫻川町十一番地 私立認可 日本簿記專修學校 通學生 寄宿生 校外生

……高價の輸入を見たるのみならず近來に至り英國政府の輸入漸く緩和せ……機械の主要部分到底古るも部分品の輸入十分ならざれば遂に運轉する事……

……に於ける細民の生活狀態につき聊……くに平野部地方及び沿岸各郡に於て……け耕地面積廣きにより米麥以外に副……較的生活に餘裕ありと次ぎに山間部地方は平野沿岸各部に比しては產物少く且つ公私の事業尠きを以て勞……

……根松皮(松の外皮及び内皮を剝ぎたるもの)山吹蓬草蕨其他數種の五十把にして酒粕醬油粕と共……低落の色見ゆるに從つて外米滿洲粟の輸入を見るに至るべし但し麥の收穫期日近づきたれば自然食物の調和を……商に嚴重に取締を行ひ併せて地主等の持米は成る可く速かに適宜の價格にて取引せしめ米價の調節を計るや……

……日本火藥製造會社山口縣厚狹工場に……て十四日回轉機破壞し即死一名負傷……二名壓死二名負傷せり(大阪特電)……風害を受け納屋二十六戶轉覆し工夫……

●王世子邸の御模様 如何にと
王世子邸の晩餐會
李王殿下一方ならぬ御滿悅

麻布區東鳥居坂の李王世子邸にては十六日午後六時三十分より晩餐會を開かれ李王殿下には世子殿下の永く御起居遊ばされたる同邸の御模樣を▽親しく御覽 あり度き思召にて午後五時三十分御旅館御出門尹贊侍陪乘閔長官以下隨員全部を隨伴同邸に成らせらる世子殿下は玄關迄御出迎直ちに奥まれる御休憩室に御誘導茶菓を召されて暫時御會談の後御勉學室、寢室、浴場、食堂、御藏室等隈なく御巡覽青葉茂れる御庭に降り立たせ馬場を御覽の上▽廣間に入り 著席せらる式部長官、伊藤次長、小宮顧問等五十餘名の陪席にて御會食殿下には非常の御滿悅にてピアノ演奏等に興ぜられ十時離宮に御歸館あり當夜小宮次官、高義務官以下世子常侍の人々に對し御土產品目錄を賜はりたりと(東京特電)

□首相官邸の晩餐會
一同乾杯殿下の御健康を祝す

寺内首相は十七日午後六時永田町官邸に李王殿下並に王世子殿下を御招待晩餐會を催はしたり此の日李王殿下には▽陸軍大將の 通常服を召され閔長官以下隨員一同を從へさせられて御臨邸寺内首相、各大臣、臨時外交調査會委員其の他陪賓の人々の出迎ひを受け續いて休憩室にて伊藤式部次長より御著京後未だ御面會なかりし伊東子、井上府知事、奥田市長等を▽御紹介申し 上げ暫時首相及び各大臣等と御會談あり後首相は殿下及び王世子殿下を食堂に御案内申し上げ鄭重なる西洋料理の御饗應を爲し晩餐央にして首相並に陪賓一同は殿下の爲めに乾盃して御健康を祝し九時過ぎ散會せり(東京特電)

●青葉蔭白馬の進士
▽奨忠壇白日場の賑はひ
▽妓生の書が芽出度く入撰

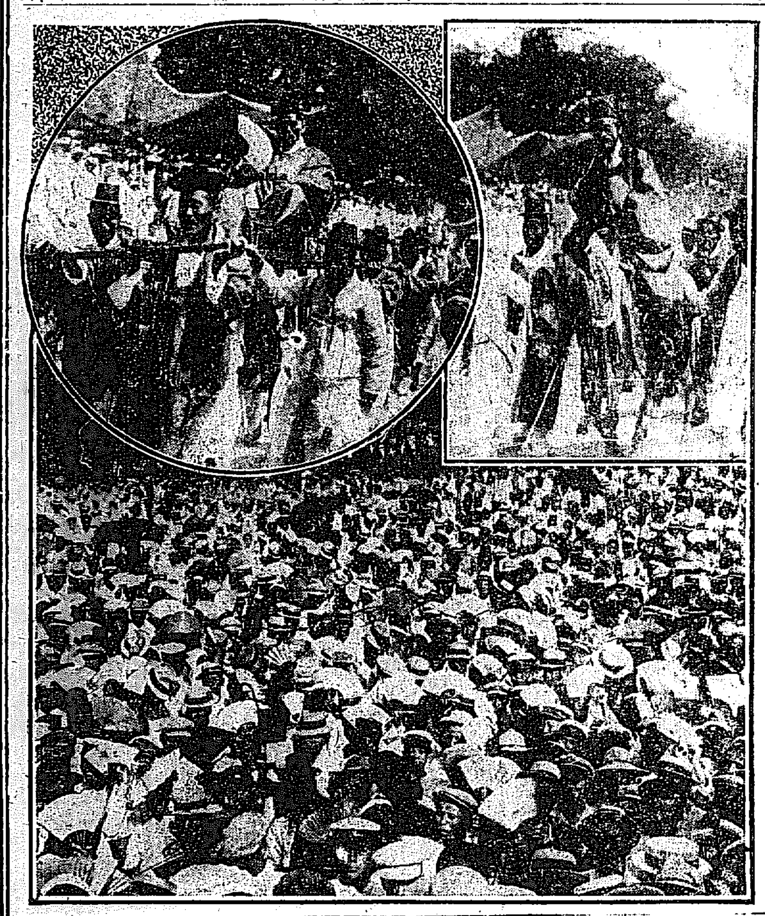
奨忠壇の白日場は十七日の日曜を人を以て埋めるほどの賑はひ、蓋し近來稀れに見る催しであつた、單に白日場と云つても内地人には聞馴れざる名稱であるがこれは昔し▣科擧の試驗に よつて官吏を採用した時の事、地方の觀察使などがその土地〳〵の儒生を集め普く詩文書を考試して表彰した催しの名稱である、此の日楊柳に亙る靑嵐に會場の入口には詩文書畫操科會と大書した紙が翻り、老槐の樹蔭壯武堂の裡には處狹きまでの▣應試書畫が有 つた、唯見れば老試官統裁部なる東農金嘉鎭先生、雲養金允植先生、荷亭呂圭亨先生、石雲朴箕陽先生の下には朝鮮一流の詩文書畫家の泰斗がずらりとならんで各部共に考試官の眼が應試の紙にそゝがれつゝあつた、詩の課題は▣『綠陰』といふ のでこれに成、晴、聲、平、横の韻をふまねばならぬ制限があり文は『温故而知新』といふ課題であつた、かくて午後三時〆切を經れば次ぎにまた當日の課題として七言絶句の『麥秋』といふのが持ち出された、これにも亦、涼、長、陽の韻を含む制限があつて▣審査はいよ〳〵 午後四時頃終つた、そして終つた合圖に銅鑼の音が響くと見物人一同は雪崩を打つて試驗場へ押しかけ何れも名譽ある及第者の氏名をのぞき込むだのであつた、次で賞品授與の儀式には『吹打』と稱する支那の古樂に則りたる節面白い奏樂裡に一等から十等まで▣數十名の人が 呼び出された受賞者の中には六七歳ばかりの詩の神童もあればさては草深き田舎に隱れたる氣高き隱逸の子弟らしき青年もあり且つまた黒い帽子の學生もあつた、殊に畫に於ては平壤在住内地人の金子吉太郎氏が此の風流な催ほしに應募して七等を得たのも興味深くまた眉目麗はしき妓生の▣金錦珠孃が書 の撰に入つたのも面白かつた、殊に授賞の式の賑はひには塲内十重廿重の人垣を爲し高い欅の上からのぞいた人々は突然枝を折られて轉ぶものさへあつたかくて考試を終つて後はそのむかし遊街と稱せられたる進士の晴れの行列が始まり得意の秀才が飾れる白馬に跨りつゝ夥多の從者や樂隊の一隊(喇叭、笙、長鼓、笛、笙、大鼓)を引き具して▣都大路を行列 する式が行はれた、散會は午後七時、兎に角日淸戰爭後一時廢滅してゐた風流な催ほしが再び玆に復活したのは何よりのことといふべく此の日は昔しなつかしき朝鮮の儒者古老等何れもありしむかしを偲びつゝ非常なるよろこびであつた

△翰林の士となるべく
◇某名士の思ひ出◇

科擧の試驗はむかし文官及び武官を登用する爲めに行はれたものでこれに應募する者は地方で うけそれから監試會試を經て進士となりそれより文科の試驗は殿試と稱して天子の前で行はれるのである、試驗ははじめ進士になるまでは四書五經から出題されるけれども殿試となれば對策と稱して天下國家を論ずるのであるかゝる試驗は今の日本に於ける高等文官試驗の如きものでむかしの▣靑年の登龍門 は此處であつた、それで支那朝鮮に於ては昔年が此の進士となるべく隨分苦勞したものでいろんな小說や戯曲などの骨子はこれにとつたものが多いのである、そして進士となつて天子の賜りたる白馬に跨り白牌使令と稱する免狀を貰つて都大路をねり歩くのは男子一生の快事であつた、進士は遊街を終つて▣孔子廟に詣で それから馬で故鄕に錦を飾ることが能きた、進士は三年に一度宛二百人を採用したもので殿試をうけるまでは文廟の成均館に養はれるのであるが、京城では古來東小門内の文廟成均館及び昌德宮の隆文堂、或はまた昌德宮の春塘臺で行はれたものである

▲高い軺軒の一輪車
◇朝鮮青年の所感◇

(原文手記のまゝ)昔より朝鮮には支那に擬ねて科擧法といふのがあつて全國の儒學者を集めて詩、文、書の試驗をした結果、當選されたものは▣官吏に任命す るといふ慣がありたがそれも段々時勢の變るに隨つて全廢されてからもう三十餘年になる。その昔の科擧法に擬する詩文書畫大會は朝鮮人側の有志者に依つて十七日午前八時より南山下奨忠壇に於いて開かれた。遠い田舎から能く應試にやつて來た朝鮮の儒學者連は眞白な袍や帷子の晴著を著て鹿爪らしい顏をして續々になつて▣奨忠壇の森に 集まるのも近來珍らしいことである、八時になつて朝鮮の奮樂隊の瀏喨なる樂の音が奨忠壇の森を潜つて鳴り渡ると、白く山を成して居た應試者連は山皮を剝ぐ樣に一時に起き上つて受付口に走つて往つて押しつ押されつしながらわれ先きに試紙を納めては自信ありそうに微笑んで居る、考試部には金嘉鎭子爵を始め十餘名の朝鮮一流の書畫大家がズラリと並んで太い葉巻を燻らしながら▣山なす試紙を 一々細かく批評する丁寧な考試振りは實に壯嚴である。あひだ〳〵に餘興として色々朝鮮固有の風俗習慣を見せられたが隨分珍妙なものがある。朝鮮の奮裝をした者が軺軒といつて二丈餘りもある高い一輪車に乘て廻るのがある。隨分危なつかしいものだがそれは昔し▣爵位の高い者 の使用した車で『高きに居て危きを知れ』といふ意味を象徵したものださうであるかういふ風に時々朝鮮の習慣を見せられると昔の朝鮮が偲ばれて懷かしい感じがする(十七日午後白日場にて陳學文生)



◇奨忠壇白日場の賑ひ むかしの科擧の試驗にならひたる白日場の賑はひは十七日の朝から夕方まで奨忠壇につゞいた、寫眞は月桂冠を得たる白馬が今し遊街の行列に出でむとするところ 市の人はむかし從一品以上の人が乘りし軺軒の行列なり

●少年雜貨商慘殺さる

平南成川邑内匠醫卿の長男雜貨商戶匠謙(一三)は同郡三德面の鮮人宿にて六月十三日何者にか慘殺されたり多分鮮人強盜の所爲らしく所持金二十圓を強奪されたる模樣あり成川憲兵分隊にては目下犯人搜査中なり

……と同人は鄕里石川縣金澤市の中學校を病氣の爲め半途退學し平壤にて三年許り店員に住込み去る五月中獨立して商業を營まんと其の著手中此の慘禍に逢ひたるものなりと

●松岡中尉
各務ケ原歸著

松岡中尉は十七日朝飛行機を操縱して各務ケ原飛行塲を出發し大垣岐阜を訪問し無事各務ケ原に歸著せり(大阪特電)

●我が勇士の墓
四道河子にて發見す

滿洲四平街八家子居住竹田律治男が去る五日與京縣四道河子(八家子を距る西南十五支里)を旅行中同部落の楊林中にて端なくも日露戰役當時戰歿せし我勇士の墓を發見し早速其旨鐵嶺警察署に屆け出たるが同墓は約四尺四方を高さ一尺餘ばかりに積上げ之に墓標には『故陸軍步兵上等兵小野田三代吉墓、後備步兵第五十八聯隊第六中隊、明治三十八年(月日は文字不明)』とあり(下略)

●高女職員生徒の中毒
犯罪的行爲の噂あり

函戶觀和高等女學校職員生徒及び家族中菓子にて中毒し二十七名の患者を出し既に死亡せし者一名あり之が裏面には犯罪潜み居らずやとの噂あり(大阪特電)

●猛獸に浚はる

全北にては夏季猛獸の出現多く之れが驅除に努め居れるが碧鍾郡君北面北上洞姜貞玉二女(四)は六月二十日拉去され又慶北海雲郡陽地洞盧允陽長女阿只(二)は六月十一時頃豹に咬殺されたるが一部牛豚の被害は尠からず猛獸は豹、猪、熊、狼等にして寧邊郡八院面秋羊洞にて六月八日一頭の熊を射殺したりと

●船夫四名溺死

全南務安郡智島面義里北方神合に鰯光罪を獲せる六十石積朝鮮型帆船が風波の爲め顚覆し船具等海上に漂ひ居るを附近を航行せる珍島の金致云の漁船が發見して船主光罪陳良、法聖浦南宮興(三)濟州龍潭里左永三(四七)の二名を救助せり同船には此の他四名の乘込鮮人ありしが一名は屍體を發見し三名は行衞不明となれり

●雇人は出者

高知縣香美郡赤岡町生れ釜山本町二丁目朝鮮水產新報社內に居住する土田勝太郎(三七)は昨年九月より同町雜貨商戶所他吉方へ雇はれ中同店の商品を胡塵化し本月六日迄に賣却したる金額二百五十圓以上にて幾分は郵便局に貯金し殘額を遊廓安樂亭の抱娼妓蝶々に入れ揚げ居れること主人に探知されて告訴され勝太郎は目下釜山署にて取調中(釜山)

●五人拔銀盃は
『荒玉』へ
釜山支局の懸賞

京城日報釜山支局懸賞五人拔は人氣沸騰し東西の力士必死となりて勝負を爭ひ一時間餘に亙りて遂に荒玉の勝利に歸したるが滿塲の拍手喝采暫し鳴りも止まざりし(釜山特電)

●爆藥漁業者處罰

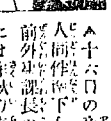
栃木縣那須郡大山田村生れ忠南公州郡牛城面鋳大里居住鑛業代茂卓(三七)は內鮮人四名を伴ひ本月八日錦江檢詳里附近に於て鑛用の『ダイナマイト』七本を以て盜漁に使用したる事發覺し十日公州警察署に於て罰金三十圓に處決さる(公州)

●印紙で遊蕩

釜山地方法院釜山支廳雇員岡本豐一(二三)は登記申請書受付の印紙を再貼し百五十餘圓の印紙を窃取し遊蕩に費消したる廉及び公文書毀棄罪の公判は十二日釜山地方法院に於て開廷審理の末懲役一年六箇月を求刑されしが來る十九日言渡しある筈(釜山)

□角力電報不著

釜山東萊大角力二日目勝負電報締切迄に著せず依つて夕刊に掲載すべし

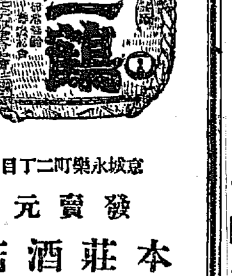


▲十六日の夜行で大人倫作陛下した小松前外事課長の見送りには昨秋以來のお久振なる寺內將軍以下奥さんの御挨拶といふので至極賑やかだつた▲その中の千代本の女將は小松氏が何年に一度け是非來て下さるやうとの御挨拶▲それよりも君達の方から一度づゝ是非東上し給へと小松氏の御挨拶▲『イエ妾の申すのは京の浪花節の爲めにお願ひ申しますので……』▲この逆襲にあとは東京の口噺が廢るとか腐らぬとかの大笑ひがつゞいた▲千代本といへば十六日の暑いお午からのこと女將は白耳義領事館に須磨子をつれて訪れた▲折から庭には音樂隊の奏樂に美しいお茶の會が催されてゐたが須磨子は白粉に白い顏をコールブラン夫人の薔薇に押しあてゝゐた▲コールブラン氏と云へば甲山銅山で有名なコールブランさんであるがこのごろはいつも京城に淹留中と見られる▲それにモ一つのうはさには道回ビショップハリス博士の後任に來たウエルチ夫人は莫迦に若いウエルチ博士と共に實に立派な夫人である

內科 小兒科(入院隨意) 京城櫻井町(電一二七一番) 池上醫院

◈藝術座專屬 男女優數十名
松井須磨子一行出演
愈々十八、十九兩日限り日延なし(午後六時開演)
三つの替り藝題
◈喜劇 中村吉藏作 爆發 一幕
◈マイエルフエルステル作 楠山正雄譯補 想出 三幕
「希臘悲劇 エヂポス王 一幕
◈所作事 京人形 一幕
入塲料 特等一圓卅錢 一等一圓 二等七十錢 三等三十錢
京城 壽座

書籍書用品 綿絹紡類 各種萬年筆販賣修繕 京城永樂町二丁目 電一七四〇 振京一〇八 堀崎商店

優等清酒


京城永樂町二丁目 發賣元 本莊酒店 電話六五四番 振替京城二六〇二番

內科 小兒科 入院隨意 京城府龍山元町 紫野醫院 電話二〇四番

製造元とのやくそくで割の安い品そろひの
砂糖、麥粉、糞、金巾、燐寸、石油、洋燭、罐詰、紙、穀物、罐詰、ビール、サイダ、葡萄酒、清酒、醬油、染粉、足袋、其他日鮮人向雜貨食料品
大おしろ店 仁川本町 河野本店 電話二八番 振替京城一二二番

營業品目
肥料部 蒸製骨粉、乾血、蹄角粉、果樹配合肥料、細工用地骨、細工用蹄角各種膠及膠原料
石鹼部 化粧用石鹼、工業用、家庭用石鹼、浮石鹼、粉末石鹼、牛脂、椰子油、鯨油、其他油脂類、脊性曹達、洗曹達
京城東大門外紅葉町 朝鮮肥料製造所 電話二六三五番
京城岡崎町一四番地 朝日石鹼製造所 電話二五六四番 電話九七三番 振替口座京城八〇四番

貯蓄預金 元金百圓ニ付日步壹錢三厘 金壹錢以上何程ニテモ御預申候
株式會社長崎貯蓄銀行代理店
株式會社十八銀行京城支店 京城黃金町 電話四二〇番 振替口座京城五八一四番
同 龍山出張所 龍山元町二丁目 電話一八番
諸預金貸付爲替銀行一般ノ業務ハ精々御便利ニ取扱可申候

京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 電話一八〇番 二六〇〇番 酒井婦人病院 入院隨意 院長 酒井一郎

花筐（二九）

松田竹の島人作

市野誠信の居宅は、東京の上根岸にあつた。日本鑛産株式會社の社長の居宅だけあつて、門構へも立派さ、洋館造りの應接室も、日本風の座敷も、數寄を凝らした普請であつた。

誠信の一人子花枝は、日曜日であつたから、幼稚園へ往かず、朝から自宅にゐて、居室と定められてある離れの小座敷で、乳母のお島を相手として、姉樣事を爲て遊んでゐた。

花枝は、お河童さんに下げた髮の毛が、濡れた鴉の羽毛のやうに黑く艶々しく、黑眼勝ちで、頬のふつくらさして、人形を見るやうな可愛らしい兒であつた。派手な縱横縞のフランネルの單衣を著て、水紅色縮緬の兵子帶を、背後で結んで下げてゐた。

姉樣事に倦いたかして、お島の方を向くと、雷のやうな口を開いて、

『お母樣は、何時御歸り遊ばすの？』

と訊いた。

花枝は、お島が親身の子のやうに可愛がつて、大切に爲てゐたから、縱令生みの母の京子が傍に居なくつても、然う逢ひたく思ふこともなささうであるが、血肉の關係は爭はれないもので、母親が道樂ことを言つて訊くのであつた。

お島は、京子が姿を隱したことを誠信から噺して聞かされ、そして其事は花枝へ知らしてくれるなと口止めされてゐたから、何もありの儘に言はず、程よく繕ふてゐた。けれども訊かれる度毎に、花枝を可哀想だと思ふから、ハツと胸を躍らせてゐた。

今も、花枝から京子の事を訊かれて、胸を騷がせたが、何氣ない態を繕ふて

『お母樣は未だ／＼が御惡るくつて居らつしやいますから、御歸りは遊ばさないでございませうよ』

『然う、だつて何時か鎌倉に往つた時、御ねんねして居らつしやらなかつたぢやないの』

『御頭腦が御惡るくつて居らつしやいますから、外の御病氣のやうに御ねんねは遊ばさなくつても宜しいのでございます』

『鎌倉に居らつしやるとつて御惡るいのが、早く快く御爲り遊ばすツていふから、最う快くおなりに爲りさうなものねえ』

『そりや東京に居らつしやるよりも御早く快くおなり遊ばすでございませうよ』

『今日は幼稚園が御休みだから、乳母と一緒に鎌倉へ往けば可かつたわね。』

『然うでございましたね』

『此次の御休みには、連れて往つて頂戴よ。』

『ねヽ連れて往つて上げますとも』

お島は、口では然う程よく言つてゐたけれども、花枝を鎌倉の別莊へ連れて往つたら、京子の居ないことが露見れると思ふから、密に心を痛めるのであつた。

僅五歳の花枝であるから、好い加減なことを言つて、欺しては置かれるやうなもの丶、年齢には老成て、目から鼻へ拔けるやうな怜悧であつたから、時には其場逃れの欺しに乘らないこともあつた。だからお島は何んとか外へそらさうと思つた。

『ねヽお孃樣、此次の御休みには、動物園に參らうぢやございませんか、然うしてライオンや象を見て參りませう。』

『動物園には、此前の御休みに往つたぢやないの。』

『だツてお孃樣は、鼻の大きな象は面白いツて仰つたぢやございませんか。』

『面白いたツて、然う度々見ては不足言ないわ。』

泌尿器科 皮膚科 外科一般 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院
電話四一九番

女中や小僧を居著せるには

昔は大た家に奉公すれば行儀作法が覺えられるのみならず嫁の媒介迄して貰へるといふ所から親も娘も女中奉公を希望した──今では親しよりも算盤で女中を使ふ方が多いから昔程主從の美しい觀念も無い一方に於ては女中に行くよりも自家に居て内職すれば家の用をしながらでも餘程割がよい内職の數も最近は著しく殖ゑた其上年若の女を使ふ工場の種類が多くなつた結果そんな譯で女中を希望する者が減つて行くのは當然である小僧入用の貼札も彼處此處に見ゐるが近頃は小僧さん入用とさんといふ敬語を用ひた札さへある、敬語は使つても實際雇入れると矢張り昔の筆法で小僧を奴隷的に使ふ主人が少くないのであらう工場通ひの方が金になつて時間以外は自分の體になれると工場通ひを希望する者が非常に多い女中にせよ小僧にせよ使用法を一變して親切を旨とし食べものを主人と同じくする樣にすれば女中も小僧も居著く樣になるであらう

新刊紹介

▲新文學辭典『生田長江、森田草平、加藤朝鳥共編』最近四五十年間に現はれたる文藝思想上普通に使用せらるヽ文藝用語を蒐集して簡潔に解説し猶必要に應じて原語を記したるものにして一般辭書の客觀的なるに反し本辭典は甚だ主觀的の氣分に滿ちて居る文藝の特殊なる意義を含有する言語を使用する場合にして複雜なる思想の途は多々に富み精神的要求の生じ年と共に學問的新術語が増加するの必要を生じ又現今學者の知らざる所を知らざるのみならず若し之を知りて使用するも普通讀者は明かに諒知せざる能はざるに至れり本書は即此の時運の要求に應じたるものにして文藝愛好家在右必備の良書

▲蒲團研究會報（六月號）木號より將門の一方針と方法 岡田百道 悟道（飯田權臣）其他 十五錢東京・橋町一の三三共社）

▲寫眞タイムス（六・號）兩陛下を迎へ來る島津公爵家の庭園寶物閲覽會開東選手撮影大會、對抗戰寫眞附錄の支那樂器院其他 二十五錢東京・橋・有・明治寫眞所）

▲土木建築工學（六月號）有望なる北朝鮮の水力電氣、三角測量の一例、工事用器具機械と工場（他依例） 十五錢東京日本橋本石町一の一共社）

▲柔道（六月號）柔道大會記事を最も詳細に記せる外 嘉納師範中島、諸橋兩高師教授の論説及び柔道界雜報を收む 二十錢東京 石川大塚坂下町一 柔道大會）

▲刀劍と歴史（六月號）新刀位列改定に就て、舞の考證所持の名刀、新刀位列改定に就て、鐔の撰擇、太閤鍔切一忠吉、山城其他（二十錢東京牛込東榎町南栗鳥翔料曲羽澤文庫）

▲花（六月號）（十八錢東京下谷上野櫻木町三六東京園）

▲小供と科學（六月號）（十錢東京小石川大塚町一川越）

▲京城にも何々寄附とか云つて紳士連は大分弱らされて居るとの事だが公共的事業に對する寄附金は大概少額であるに拘らずヤレ役者への贈物だソレ何々への寄贈だとか云ふ譯らないものに寄附の多いのは驚ろくだから京城には公共的設備に乏しい（重役總代）▲犬の喧嘩も可いが犬さへ人間さを取り替へては困る（愛犬生）▲過日明治町の某鍛冶屋の主人は其の弟子に共用水道の水をざあ／＼出させ何か仕上物を洗して居た昨今の水の不足なるに斯く粗末に使ふのは公德心の無き奴だ宜しく水道使用禁止を實行す可しだ（府の一民）

▲ワンソン流に鳴も大概にして止し給へ何アンだ重税を科せよとか月税一匹だとか一體何を根據として割出したのかね月で物は淺薄に考へて後言を吐き給へ聞いてる者はキ印と思ふせいヽかね犬が人に愛せらるヽも人が犬を愛するも何かそこに理由が潛まなければならぬそれを無闇に排斥することは餘りに愛がなさ過ぎすまいかマア急場の策として野犬撲殺の獎勵良い良種の犬を飼養する事だねそれで萬々一にも重税の必要ありとせば一匹一圓五十錢位が適當してはゐまいか此れとても無理な方かも知れぬよ（忠犬愛護論者）▲一昨夜野犬撲殺は大いに贊成するも夜九時過邸内に於て犬聲騷々しく立出でたるに一新人の野犬撲殺人が邸外に待ち一犬を追廻し外二人は邸宅内へ侵入し立てするもの如し彼等は何事も識別するの能力なきものなれば只追出したるも或る機會にては如何なる凶器を生ずるやも計りがたし夜間の撲殺は其筋の許可を待たる者なるや若し許されたるものとすれば一人の取締の如き人物の附添あらんことを乞ふ（警愕生）

米國の猫物語

▲目下米國では歐洲戰爭のために毛[illegible]如きも居中は其の背中の毛皮が五十仙、虎猫のが一弗から一弗半、黑猫[illegible]用ひらるる安物から、高價な毛皮の模造品として賣られる上物に至るまで[illegible]

▲實際公平に見て猫の毛皮は決して下等なものでない、毛が軟らかく肌[illegible]といつて賣るのが普通である、彼等が猫の毛皮を染て高價な毛皮の模造[illegible]猫を除いても年々數萬匹に上り、それが總て毛皮商の手に入るのである[illegible]

▲また山野を自由に驅け廻つてゐる野生の猫の方が大きく毛も厚くて好い[illegible]白エーカー許りの島に猫の飼育場を設立する計畫を立てたことがある、[illegible]

たゞこの計畫が甘く行けば五年後には三百三千六百匹の黑猫の毛皮は市場に提供することが出來て大儲けを[illegible]する筈であつたが、この計畫は途に[illegible]

眼科專門 入院隨意
京城明治町東拓横（電話二〇四四番）
江頭眼科醫院
日曜祭日午後二時迄
江頭富雄

資本金五百萬圓
頭取 安田善三郎
株式會社百三十銀行京城支店
京城本町壹丁目
電話 五八番 一九四番
振替貯金京城二三〇番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候
爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

外科一般 花柳病科
内科一般 皮膚病科
島崎病院
京城旭町一丁目（本通り…入る）
電話二七三六番
普通及隔離病室完備
診察夜九時迄

賣行は
商品の信用に於ける
唯一の晴雨計です。
品質本位
花王石鹸の
卓絶した賣行を……
事實に御聽下さい！

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神戶、大阪行
○大有丸 六月十七日午後四時出帆
○秀吉丸 六月十九日後四時出帆
○神代丸 六月廿四日後四時出帆
○君が代丸 六月廿二日後四時出帆
仁川海岸通一丁目五十九番 高杉回漕部

汽船釜山出帆廣告
門司、神戶、大阪行
○和歌浦丸 六月二十日後五時出帆
○立神丸 七月一日後五時出帆
元山、清津、浦鹽行
○和歌浦丸 六月十九日後十時出帆
○立神丸 六月三十日後四時出帆
元山、西湖津、新浦、城津、清津行
○第三琴平丸 月日後六時出帆
○第三琴平丸 月日後六時出帆
○宇品、神戶、大阪行
○須奈、嚴原、壹岐、博多行
○天龍丸 每月一日九日十四日廿一日廿六日 午後十時出帆
釜山港埋立新町 大池回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
○相模丸 六月廿四日正午出帆
○高砂丸 七月五日正午出帆
○三河丸 七月十五日後六時出帆
仁川港本町一丁目 郵船支店

○共同汽船仁川出帆
○芝罘、大連行
會下山丸 六月十五日午後八時出帆、六月十七日前十時出帆
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店 本町四丁目（電話一七三番） 野口商會
元山代理店 京城出張所 田口回漕部
京城代理店 南大門通（電話二六八・二〇一七） 河村運送店

富の道しるべ 村上雅吉共著 定價十五錢

大阪商船仁川出帆
門司、神戶、大阪行
頭山丸 六月十九日
油頭丸 六月三十日 後五時出帆
南部丸 六月廿七日
×木浦、釜山行
×東丸 六月廿五日
安東丸 七月十三日 後二時出帆
横濱行
府州丸 六月十八日
淵州丸 六月廿四日 後二時出帆
鎮南浦行
福州丸 六月廿一日
南部丸 六月廿四日 正午出帆
大連直航
蒲州丸 六月
安東丸 七月二十八日 正午出帆
安東丸 七月八日 後二時出帆
西湖津、新浦、城津、清津行
安平丸 六月十六日後十二時出帆
清津行
泉州丸 六月廿四日後十二時出帆
上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
北清丸 六月二十日前六時出帆
大智丸 六月廿七日後四時出帆
御注意 切符發賣所
大阪商船會社仁川支店 電話一二〇番
內國通運會社京城支店 電話七〇八番
仁川京城通り 朋愛旅館 電話二六一番

朝鮮郵船出帆
本社 松原運送店 電話一七〇番
○江原丸 六月二十日
○京畿丸
○黃海丸 六月十八日
○咸鏡丸 六月廿八日 釜山發
○慶尙丸 六月十八日
○全羅丸 六月廿四日 元山發
○平安丸 六月 九山發
○忠淸丸 六月廿一日 釜山發
○江原丸 每日 群山發
○三浪丸 六月十七日 釜山發
○海州丸 每日 釜山發
○平安丸 六月廿二日 九山發
○慶興丸 六月十六日 木浦發
○慶興丸 六月廿二日 木浦發
○公州丸 六月十七日 木浦發
○麗水丸 六月十八日 仁川發
○昌原丸 六月廿二日 仁川發
○宗吉丸 六月十二日 仁川發
○全南丸 每日午前 仁川發